

証明請求書

【提出日】平成15年7月18日

【あて先】特許庁長官 今井康夫 殿

【事件の表示】

【出願番号】特願 2000-149116

【請求人】

【識別番号】

【郵便番号】105-0001

【住所又は居所】東京都港区虎ノ門4-1-21 葺手第二ビル 2F
テスコダイレクト株式会社内

【氏名又は名称】藤井保夫



【証明に係る事項】 証明に係る書類名に記載した事項について相違ないことを証明してください。

【証明に係る書類名】特許願（明細書、図面、要約書）

【交付方法】手交

【請求部数】1

(1,400 円)

以下余白

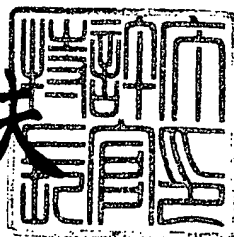
2003年出証特第4000052号

前記の通り相違ないことを証明する

平成15年 7月29日

特許庁長官

今井康夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 0000446804

【提出日】 平成12年 5月19日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会
社内

【氏名】 李 成蹊

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会
社内

【氏名】 藤瀬 康子

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会
社内

【氏名】 山口 雅太郎

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100067736

【弁理士】

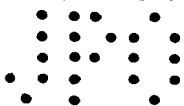
【氏名又は名称】 小池 晃

【選任した代理人】

【識別番号】 100086335

【弁理士】

【氏名又は名称】 田村 榮一



【選任した代理人】

【識別番号】 100096677

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊賀 誠司

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 019530

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

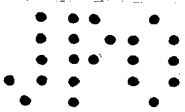
【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707387

【プルーフの要否】 要



【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワーク会議システム及び参加認証方法、会議管理サーバ及び参加認証方法

【特許請求の範囲】

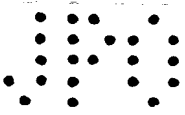
【請求項 1】 プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器と、会議に参加するユーザにより操作される複数の参加用電子機器と、出力用電子機器及び参加用電子機器と接続されて上記出力用電子機器及び上記参加用電子機器と情報の送受信をする会議管理サーバとが、通信回線網を介して接続されたネットワーク会議システムにおいて、

上記各参加用電子機器は、上記会議管理サーバを介して他の参加用電子機器及び上記出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、上記プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有し、

上記情報入出力機能、上記認証機能、上記機器管理機能、上記表示機能及び上記議事録制御機能を有したチェアマン端末となる権限を有したときに、

上記認証機能は、上記他の参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を上記会議管理サーバから得て、当該個人情報に基づくユーザの操作に従って、上記他の参加用電子機器の参加許可情報又は参加不許可情報を作成することを特徴とするネットワーク会議システム。

【請求項 2】 上記認証機能は、会議への参加を許可した他の参加用電子機器のアイコン表示を選択可能とする参加許可情報、会議への参加を許可していない他の参加用電子機器のアイコン表示を選択不能とする参加不許可情報を作成する



こと

を特徴とする請求項 1 記載のネットワーク会議システム。

【請求項 3】 上記情報入出力機能は、上記他の参加用電子機器からの会議への参加を要求する上記個人情報を含む会議参加要求が上記会議管理サーバを介して入力され、

上記認証機能は、上記情報入出力機能に入力された会議参加要求に応じて、ユーザの操作に従って参加許可とされたときには他の参加用電子機器のアイコン表示の表示形態を変更する参加許可情報を作成すること

を特徴とする請求項 1 記載のネットワーク会議システム。

【請求項 4】 上記表示機能は、上記通信回線網内に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 1 の画面領域に含み、上記通信回線網外に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 2 の画面領域に含んで表示すること

を特徴とする請求項 1 記載のネットワーク会議システム。

【請求項 5】 上記表示機能は、上記各電子機器が上記通信回線網内に存在することを示す場所属性情報を上記第 1 の画面領域に表示し、上記各電子機器が上記通信回線網外に存在することを示す場所属性情報を上記第 2 の画面領域に表示すること

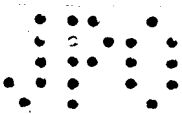
を特徴とする請求項 4 記載のネットワーク会議システム。

【請求項 6】 上記情報入出力機能は、上記他の参加用電子機器からの会議からの退出を要求する会議退出要求が上記会議管理サーバを介して入力され、

上記表示機能は、上記情報入出力機能が入力された会議退出要求に応じて、上記会議退出要求を出力した上記他の参加用電子機器に関するアイコン表示の表示形態を変更すること

を特徴とする請求項 1 記載のネットワーク会議システム。

【請求項 7】 プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器と、通信回線網を介して他の参加用電子機器及び出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧



するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有する複数の参加用電子機器と、上記出力用電子機器及び上記参加用電子機器と接続されて上記出力用電子機器及び上記参加用電子機器と情報の送受信をする会議管理サーバとが、通信回線網を介して接続されたネットワーク会議システムの参加認証方法において、

上記情報入出力機能、上記認証機能、上記機器管理機能、上記表示機能及び上記議事録制御機能を有したチェアマン端末の認証機能は、

他の参加用電子機器から上記会議管理サーバを介して、他の参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を入力し、

上記個人情報に基づくユーザの操作に従って、上記他の参加用電子機器の参加許可情報又は参加不許可情報を作成して、参加認証をすること

を特徴とする参加認証方法。

【請求項 8】 上記認証機能は、会議への参加を許可した他の参加用電子機器のアイコン表示を選択可能とする参加許可情報、会議への参加を許可していない他の参加用電子機器のアイコン表示を選択不能とする参加不許可情報を作成して、参加認証をすること

を特徴とする請求項 7 記載の参加認証方法。

【請求項 9】 ユーザの操作に従って参加許可とされたときには他の参加用電子機器のアイコン表示の表示形態を変更する参加許可情報を作成すること

を特徴とする請求項 7 記載の参加認証方法。

【請求項 10】 参加認証をした後、

参加を許可した上記通信回線網内に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 1 の画面領域に含み、上記通信回線網外に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 2 の画面領域に含んで表示すること

を特徴とする請求項 7 記載の参加認証方法。

【請求項 11】 参加認証をした後、

上記各電子機器が上記通信回線網内に存在することを示す場所属性情報を上記第1の画面領域に表示し、上記各電子機器が上記通信回線網外に存在することを示す場所属性情報を上記第2の画面領域に表示すること

を特徴とする請求項10記載の参加認証方法。

【請求項 12】 参加認証をした後、

上記他の参加用電子機器からの会議からの退出を要求する会議退出要求が上記会議管理サーバを介して入力されたときには、

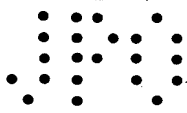
上記会議退出要求に応じて、上記会議退出要求を出力した上記他の参加用電子機器に関するアイコン表示の表示形態を変更すること

を特徴とする請求項7記載の参加認証方法。

【請求項 13】 プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器、及び通信回線網を介して他の参加用電子機器及び上記出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、上記プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有する複数の参加用電子機器と、通信回線網を介して接続された会議管理サーバにおいて、

上記参加用電子機器からの上記参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を、他の参加用電子機器に出力し、上記会議参加要求に応じた参加認証結果を入力する入出力手段と、

上記入出力手段で得た上記個人情報、上記参加認証結果を用いて、会議に参加している複数の上記参加用電子機器を管理する参加情報ファイルを作成し、上記参加情報ファイルとして管理された各参加用電子機器の個人情報を参加認証結果



に従ってアイコン表示する参加機器表示情報を作成する参加管理手段とを備えることを特徴とする会議管理サーバ。

【請求項 14】 上記参加管理手段は、上記情報入出力機能、上記認証機能、上記機器管理機能、上記表示機能及び上記議事録制御機能を有したチェアマン端末である権限を有する上記参加用電子機器からの参加許可情報又は参加不許可情報に基づいて、上記参加情報ファイルの内容を更新すること

を特徴とする請求項 13 記載の会議管理サーバ。

【請求項 15】 上記参加管理手段は、作成した参加機器表示情報を通信回線網に接続された上記参加用電子機器に出力すること

を特徴とする請求項 13 記載の会議管理サーバ。

【請求項 16】 上記参加管理手段は、上記チェアマン端末からの上記参加許可情報に基づいて会議への参加を許可した他の参加用電子機器のアイコン表示を選択可能とし、上記参加不許可情報に基づいて会議への参加を許可していない他の参加用電子機器のアイコン表示を選択不能とする参加機器表示情報を作成すること

を特徴とする請求項 14 記載の会議管理サーバ。

【請求項 17】 上記参加管理手段は、上記他の参加用電子機器からの会議への参加を要求する上記個人情報を含む会議参加要求が入力され、上記会議参加要求に応じた上記チェアマン端末からの参加許可情報に基づいて、アイコン表示の表示形態を変更する参加機器表示情報を作成すること

を特徴とする請求項 14 記載の会議管理サーバ。

【請求項 18】 上記参加管理手段は、上記通信回線網内に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 1 の画面領域に含み、上記通信回線網外に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 2 の画面領域に含んだ参加機器表示情報を作成すること

を特徴とする請求項 13 記載の会議管理サーバ。

【請求項 19】 上記参加管理手段は、上記通信回線網内に存在することを示す場所属性情報を上記第 1 の画面領域に表示し、上記通信回線網外に存在することを示す場所属性情報を上記第 2 の画面領域に表示する参加機器表示情報を作成

すること

を特徴とする請求項 13 記載の会議管理サーバ。

【請求項 20】 上記会議管理手段は、上記他の参加用電子機器からの会議からの退出を要求する会議退出要求が入力されたことに応じて、上記会議退出要求を出力した上記他の参加用電子機器についてのアイコン表示の表示形態を変更する参加機器表示情報を作成すること

を特徴とする請求項 13 記載の会議管理サーバ。

【請求項 21】 プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器、及び通信回線網を介して他の参加用電子機器及び上記出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、上記プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有する複数の参加用電子機器と、通信回線網を介して接続された会議管理サーバの参加認証方法において、

上記参加用電子機器から上記参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を入力し、

上記会議参加要求を他の参加用電子機器に出力し、

上記会議参加要求に応じた参加認証結果を入力し、

上記個人情報、上記参加認証結果を用いて、会議に参加している複数の上記参加用電子機器を管理する参加情報ファイルを作成し、

上記参加情報ファイルとして管理された各参加用電子機器の個人情報を参加認証結果に従ってアイコン表示する参加機器表示情報を作成すること

を特徴とする参加認証方法。

【請求項 22】 上記情報入出力機能、上記認証機能、上記機器管理機能、上

記表示機能及び上記議事録制御機能を有したチェアマン端末である権限を有する参加用電子機器からの参加許可情報又は参加不許可情報を入力し、

上記参加情報ファイルの内容を更新すること
を特徴とする請求項 21 記載の参加認証方法。

【請求項 23】 作成した上記参加機器表示情報を通信回線網に接続された参加用電子機器に出力すること
を特徴とする請求項 21 記載の参加認証方法。

【請求項 24】 上記チェアマン端末からの参加許可情報に基づいて会議への参加を許可した他の参加用電子機器のアイコン表示を選択可能とし、上記参加不許可情報に基づいて会議への参加を許可していない他の参加用電子機器のアイコン表示を選択不能とする参加機器表示情報を作成すること
を特徴とする請求項 22 記載の参加認証方法。

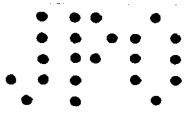
【請求項 25】 上記他の参加用電子機器からの会議への参加を要求する上記個人情報を含む会議参加要求を入力し、
上記会議参加要求に応じたチェアマン端末からの参加許可情報に基づいて、アイコン表示の表示形態を変更する参加機器表示情報を作成すること
を特徴とする請求項 22 記載の参加認証方法。

【請求項 26】 上記通信回線網内に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 1 の画面領域に含み、上記通信回線網外に存在する他の参加用電子機器のアイコン表示を第 2 の画面領域に含んだ参加機器表示情報を作成すること
を特徴とする請求項 21 記載の参加認証方法。

【請求項 27】 上記第 1 の画面領域に上記通信回線網内であることを示す場所属性情報を表示し、上記第 2 の画面領域に上記通信回線網外であることを示す場所属性情報を表示する参加機器表示情報を作成すること
を特徴とする請求項 21 記載の参加認証方法。

【請求項 28】 上記他の参加用電子機器からの会議からの退出を要求する会議退出要求を入力し、

上記会議退出要求を出力した上記他の参加用電子機器についてのアイコン表示の表示形態を変更する参加機器表示情報を作成すること



を特徴とする請求項 21 記載の参加認証方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを介して複数の電子機器、会議用機器を接続し、各電子機器を操作する参加者により会議を実現するためのネットワーク会議システム等に関し、特に、会議を開始するときの参加認証をするネットワーク会議システム及び参加認証方法、会議管理サーバ及び参加認証方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の会議システムでは、ネットワークを介してユーザが操作する複数のパーソナルコンピュータを接続したものが知られている。

【0003】

この会議システムでは、会議への参加者（アテンダント）が保有するアテンダント端末が、プレゼンターが使用するプレゼンター端末により行うプレゼンテーション内容を閲覧することができる。

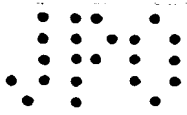
【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上述の会議システムでは、実際には議長が存在するにも関わらず、提供されているアプリケーションとしてはアテンダント端末、プレゼンター端末にしか対応したものが存在せず、チェアマンに特有の処理を行うようなアプリケーションは提供されていないのが現状である。したがって、従来の会議システムでは、チェアマンがチェアマン端末を操作することで、会議の開始前や、会議の途中で参加するアテンダント端末に対して参加認証をすることはなされていなかった。

【0005】

そこで、本発明は、上述したような実情に鑑みて提案されたものであり、アテンダント端末、プレゼンター端末及びチェアマン端末からなるネットワーク会議システムにおいて、参加認証を行うことができるネットワーク会議システム及



び参加認証方法、会議管理サーバ及び参加認証方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上述の課題を解決するために、プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器と、会議に参加するユーザにより操作される複数の参加用電子機器と、出力用電子機器及び参加用電子機器と接続されて上記出力用電子機器及び上記参加用電子機器と情報の送受信をする会議管理サーバとが、通信回線網を介して接続されたネットワーク会議システムにおいて、上記各参加用電子機器が、上記会議管理サーバを介して他の参加用電子機器及び上記出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、上記プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有し、上記情報入出力機能、上記認証機能、上記機器管理機能、上記表示機能及び上記議事録制御機能を有したチェアマン端末となる権限を有したときに、上記認証機能は、上記他の参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を上記会議管理サーバから得て、当該個人情報に基づくユーザの操作に従って、上記他の参加用電子機器の参加許可情報又は参加不許可情報を作成することを特徴とするものである。

【0007】

このような本発明によれば、チェアマン端末により、会議参加要求に応じて参加用級をする参加用電子機器を操作するユーザに関する個人情報をチェアマンに提示して、参加認証をする。

【0008】

本発明は、上述の課題を解決するために、プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器と、通信回線網を介して他の参加用電子機器及び出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有する複数の参加用電子機器と、上記出力用電子機器及び上記参加用電子機器と接続されて上記出力用電子機器及び上記参加用電子機器と情報の送受信をする会議管理サーバとが、通信回線網を介して接続されたネットワーク会議システムの参加認証方法において、上記情報入出力機能、上記認証機能、上記機器管理機能、上記表示機能及び上記議事録制御機能を有したチェアマン端末の認証機能は、他の参加用電子機器から上記会議管理サーバを介して、他の参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を入力し、上記個人情報に基づくユーザの操作に従って、上記他の参加用電子機器の参加許可情報又は参加不許可情報を作成して、参加認証をすることを特徴とする。

【0009】

このような本発明によれば、チェアマン端末により、会議参加要求に応じて参加用級をする参加用電子機器を操作するユーザに関する個人情報をチェアマンに提示して、参加認証をする。

【0010】

本発明は、上述の課題を解決するために、プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器、及び通信回線網を介して他の参加用電子機器及び上記出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、上記プレゼンテーション内容を

上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有する複数の参加用電子機器と、通信回線網を介して接続された会議管理サーバにおいて、上記参加用電子機器からの上記参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を、他の参加用電子機器に出力し、上記会議参加要求に応じた参加認証結果を入力する入出力手段と、上記入出力手段で得た上記個人情報、上記参加認証結果を用いて、会議に参加している複数の上記参加用電子機器を管理する参加情報ファイルを作成し、上記参加情報ファイルとして管理された各参加用電子機器の個人情報を参加認証結果に従ってアイコン表示する参加機器表示情報を作成する参加管理手段とを備えることを特徴とするものである。

【0011】

このような本発明によれば、会議に参加する参加用電子機器に対応する個人情報を含む参加情報ファイルを作成し、参加機器表示情報を作成して、会議に参加している参加用電子機器の状態を管理する。

【0012】

本発明は、上述の課題を解決するために、プレゼンテーション内容を提示する出力用電子機器、及び通信回線網を介して他の参加用電子機器及び上記出力用電子機器と情報の入出力をする情報入出力機能と、上記プレゼンテーション内容を上記出力用電子機器を用いて提示するプレゼンテーション機能と、上記他の参加用電子機器の上記プレゼンテーション機能により上記出力用電子機器により提示されたプレゼンテーション内容を閲覧するプレゼンテーション内容閲覧機能と、上記他の参加用電子機器の会議への参加認証をする認証機能と、上記通信回線網に接続される各電子機器の状態を管理する機器管理機能と、上記認証機能により

参加認証された他の参加用電子機器、及び上記機器管理機能より管理された電子機器をアイコン表示する表示機能と、上記プレゼンテーション機能によるプレゼンテーション内容を用いて、議事録を作成する制御をする議事録制御機能とを有する複数の参加用電子機器と、通信回線網を介して接続された会議管理サーバの参加認証方法において、上記参加用電子機器から上記参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を入力し、上記会議参加要求を他の参加用電子機器に出力し、上記会議参加要求に応じた参加認証結果を入力し、上記個人情報、上記参加認証結果を用いて、会議に参加している複数の上記参加用電子機器を管理する参加情報ファイルを作成し、上記参加情報ファイルとして管理された各参加用電子機器の個人情報を参加認証結果に従ってアイコン表示する参加機器表示情報を作成することを特徴とする。

【0013】

このような本発明によれば、会議に参加する参加用電子機器に対応する個人情報を含む参加情報ファイルを作成し、参加機器表示情報を作成して、会議に参加している参加用電子機器の状態を管理する。

【0014】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

【0015】

本発明は、例えば図1及び図2に示すようなネットワーク会議システムに適用される。

【0016】

このネットワーク会議システムでは、第1の会議室10と、第2の会議室30とから構成され、第1の会議室10と第2の会議室30とが通信ネットワーク1を介して接続されてなる。このネットワーク会議システムでは、例えば有線のLANプロトコル（例えばイーサネット）に従って通信回線を介してデータや各種情報の伝送をする通信ネットワーク1により第1の会議室10と第2の会議室30とが接続されている。

【0017】

また、このネットワーク会議システムでは、会議の出席者が操作する複数のクライアントPCを備え、いずれかのクライアントPCにチェアマン（議長）、プレゼンテータ（発表者）の権限が与えられ、他のクライアントPCにアテンダント（参加者）の権限が与られることで、チェアマン、プレゼンテータ、アテンダントからなる会議を実現する。なお、以下の説明では、アテンダントの権限を有するクライアントPCをアテンダント端末と呼び、プレゼンテータの権限を有するクライアントPCをプレゼンテータ端末と呼び、チェアマンの権限を有するクライアントPCをチェアマン端末と呼ぶ。

【0018】

第1の会議室10は、通信ネットワーク1を介して第2の会議室30と接続する会議サーバ11、会議サーバ11と第1の会議室10内の各種機器とを接続するハブ12、第1の会議室10内で無線ネットワークを形成する無線通信装置13を備える。

【0019】

会議サーバ11は、第1の会議室10と第2の会議室30とに含まれる各機器間で映像や音声、文字などを送受信する通信機能、会議の内容を記録した議事録を作成する議事録作成機能、第1の会議室10及び第2の会議室30に含まれる各種機器を認識、制御する機器管理機能を有する。

【0020】

この会議サーバ11は、第1の会議室10内に含まれる各種機器とハブ12を介して接続することで、第1の会議室10に含まれる各機器間で情報を送受信するとともに、通信ネットワーク1を介して第2の会議室30に含まれる各機器間で情報を送受信する。

【0021】

ハブ12は、第1の会議室10内に含まれるプロジェクタ装置15、GUI（Graphical User Interface）表示装置16、ホワイトボード17a、プリンタ装置18等の出力機器、3D画像入力装置17、スキャナ装置19等の入力機器と接続されるとともに、無線通信装置13と接続されている。

【0022】

無線通信装置 13 は、ハブ 12 と接続されるとともに、ネットワーク会議システムを利用して会議に参加する第 1 の会議室 10 内のユーザに操作されるクライアント PC 14 と無線ネットワークを介して接続されている。無線通信装置 13 は、例えば IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers) 802.11b 等の無線通信プロトコルに従って、各クライアント PC 14 と情報の送受信をする。

【0023】

第 1 の会議室 10 は、無線通信装置 13 と無線ネットワークを介して接続され、ネットワーク会議システムの出席者により操作されるクライアント PC (パーソナルコンピュータ) 14a ~ 14f (以下、総称する場合には、単に「クライアント PC 14」と呼ぶ。) を更に備える。

【0024】

クライアント PC 14 は、会議の出席者により操作される、例えば情報携帯端末や、パーソナルコンピュータからなる。クライアント PC 14 は、ユーザが操作するキーボード、マウス等のポインティングデバイス、プレゼンテーション内容等を表示するための表示機構を備える。

【0025】

クライアント PC 14 は、無線通信装置 13 と無線ネットワークにより接続され、無線通信装置 13 を介して第 1 の会議室 10 内の各種機器と接続されている。このクライアント PC 14 は、無線通信装置 13 を介して、他のクライアント PC 14 や、第 2 の会議室 30 内のクライアント PC 33C、第 1 の会議室 10 及び第 2 の会議室 30 内の各種機器と接続されている。

【0026】

第 1 の会議室 10 は、上記出力機器として、プロジェクタ装置 15、データ表示装置 16、プリンタ装置 18 を更に備える。

【0027】

プロジェクタ装置 15 は、内部に光学系等を備え、内部の光源から出射した光を表示スクリーン 15a 上に投影する。プロジェクタ 15 は、ハブ 12 とケーブル等により接続され、ハブ 12 を介して会議サーバ 11 と接続される。このプロ

ジェクタ装置 15 は、プレゼンター端末からのプレゼンテーションデータが会議サーバ 11 及びハブ 12 を介して入力されて、プレゼンテーション内容を表示スクリーン 15a 上に投影する動作をする。

【0028】

データ表示装置 16 は、例えば PDP (Plasma Display Panel) 等からなり、各種内容を第 1 の会議室 10 内に居る会議の出席者に提示する。データ表示装置 16 は、ハブ 12 とケーブル等により接続され、ハブ 12 を介して会議サーバ 11 と接続され、チェアマン端末の表示画面、各種内容を表示する。

【0029】

プリンタ装置 18 は、印刷用紙等の印刷媒体に印刷をする印刷機構を有し、ハブ 12 とケーブルにより接続され、ハブ 12 を介して第 1 の会議室 10 内の各種機器と接続される。プリンタ装置 18 は、例えば会議サーバ 11 からの印刷すべき資料データに従って印刷処理をして、印刷した印刷媒体を出力する。

【0030】

第 1 の会議室 10 は、上記入力機器として、3D 画像入力装置 17、ホワイトボード 17a、スキャナ装置 19 を更に備える。スキャナ装置 19 は、例えば光学式読み取り機構を備え、ハブ 12 とケーブルにより接続される。このスキャナ装置 19 は、会議の出席者により操作されて、読みとった静止画像データをハブ 12 を介して会議サーバ 11 に出力する。

【0031】

3D 画像入力装置 17 は、無線通信装置 13 と無線ネットワークを介して接続し、無線通信装置 13 を介して第 1 の会議室 10 内の各種機器と接続する。この 3D 画像入力装置 17 は、IEEE 1394 インターフェースを有したカメラ機構、台座を有し、カメラ機構で撮像した静止画像データを会議サーバ 11 に伝送する機能を有する。

【0032】

ホワイトボード 17a は、出席者により各種内容が書き込まれ、当該内容をスキャンしてデータとしてケーブルを介して会議サーバ 11 に出力する機能を有する。

【0033】

第1の会議室10は、カメラ装置20、TV会議用モニタ装置21、カメラコントロールユニット22、オーディオコントローラ23、複数のマイク装置24a～24f（以下、総称するときには単に「マイク装置24」と呼ぶ。）からなるTV会議システムを更に備える。このTV会議システムでは、第1の会議室10内の音声や、映像を得ることで、第1の会議室10内の状況を第2の会議室30側に知らせる。また、TV会議システムで得た映像データは、会議サーバ11によりキャプチャリングされる。

【0034】

カメラ装置20は、例えばテレビ会議等に使用されるものであり、第1の会議室10内で発表をするプレゼンターや、第1の会議室10内の景色を撮像して映像データを生成する。カメラ装置20は、ケーブルを介して通信ネットワーク1と接続され、第2の会議室30のTV会議システム35及び会議サーバ11に映像データを出力する。

【0035】

カメラコントロールユニット22は、カメラ装置20の撮像方向や、ズーム等の調整を制御するコントローラからなる。このカメラコントロールユニット22は、第1の会議室10内のクライアントPC14や、通信ネットワーク1を介して第2の会議室30内のクライアントPC33からのコマンドに従って、カメラ装置20を制御する。

【0036】

TV会議モニタ装置21は、表示デバイスからなり、カメラ装置20と接続し、第2の会議室30内のカメラ装置35aで撮像した映像を表示する。

【0037】

各マイク装置24は、クライアントPC14a～クライアントPC14fに対応したマイク装置24a～マイク装置24bからなる。このマイク装置24は、マイクロフォン装置からなり、各出席者からの音声を検出して音声データを生成し、オーディオコントローラ23に供給する。

【0038】

オーディオコントローラ 23 は、マイク装置 24 からの音声データを調整する機能を有する。このオーディオコントローラ 23 は、例えばプレゼンターからの音声のみを検出する設定や、プレゼンターのみならず他の出席者からの音声をも検出する設定とされる。

【0039】

第2の会議室 30 は、無線通信装置 31、携帯型プロジェクタ装置 32、クライアント PC 33 a ~ 33 c (以下、総称するときには単に「PC 33」と呼ぶ。)、カメラ装置 35 a 及び TV 会議用モニタ 35 b からなる TV 会議システム 35 を備える。

【0040】

無線通信装置 31 は、通信ネットワーク 1 と接続されるとともに、ネットワーク会議システムを利用して会議に参加する第2の会議室 30 内のユーザに操作されるクライアント PC 33 と無線ネットワークを介して接続されている。無線通信装置 31 は、例えば IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers) 802.11b 等の無線通信プロトコルに従って、各クライアント PC 33 と情報の送受信をする。

【0041】

携帯型プロジェクタ装置 32 は、内部に光学系等を備え、内部の光源から出射した光を表示スクリーン 32 a 上に投影する。携帯型プロジェクタ装置 32 は、無線通信装置 31 と無線ネットワークを介して接続され、無線通信装置 31 を介して第1の会議室 10 及び第2の会議室 30 内の各種機器と接続される。この携帯型プロジェクタ装置 32 は、プレゼンター端末からのプレゼンテーションデータが通信ネットワーク 1、無線通信装置 31 を介して入力されて、プレゼンテーション内容を表示スクリーン 32 a 上に投影する動作をする。

【0042】

クライアント PC 33 a ~ 33 c (以下、総称する場合には、単に「クライアント PC 33」と呼ぶ。) は、無線通信装置 31 と無線ネットワークを介して接続され、第2の会議室 30 内の出席者により操作される。

【0043】

クライアントPC 33は、例えば情報携帯端末や、パーソナルコンピュータからなり、会議の出席者により操作される。クライアントPC 33は、ユーザが操作するキーボード、マウス等のポインティングデバイス、プレゼンテーション内容等を表示するための表示機構を備える。

【0044】

TV会議システム35は、カメラ装置35aにより第2の会議室30の状況を撮像して映像データを第1の会議室10に送信するとともに、TV会議用モニタ35bにより第1の会議室10のカメラ装置20からの映像データに基づく映像を表示する。

【0045】

第1の会議室10及び第2の会議室30に備えられるクライアントPC 14及びクライアントPC 33（以下、総称するときには単に「クライアントPC」と呼ぶ）は、図3に示すようなソフトウェア環境を有している。

【0046】

図3によれば、各クライアントPCは、基本ソフト、例えばIEEE 802.11b等の無線通信プロトコル、通信ネットワーク1を介して情報を送受信するためのネットワークプロトコル、ネットワーク会議システムに参加するための会議プログラム、会議に参加して各種内容を表示するためのGUIプログラムを格納している。

【0047】

上記会議プログラムとしては、会議のプレゼンターが使用可能なプログラムとして、プレゼンテーションを行うためのプレゼンテーションプログラムがある。

【0048】

また、会議プログラムとしては、プレゼンター端末、アテンダント端末又はチェアマン端末が使用可能なプログラムとして、クライアントPC間において実時間でメッセージの送受信をするためのチャットプログラム、クライアントPC間においてファイルの転送を行うためのファイル転送プログラムがある。

【0049】

更に、会議プログラムとしては、チェアマン端末のみが使用可能なプログラムとして、TV会議システムを用いたTV会議を行うためのTV会議制御プログラム、会議サーバ11を制御して議事録ファイル作成を制御するための議事録制御プログラム、ネットワーク会議システムを利用したクライアントPCや各種機器を管理するためのユーザ認証／機器管理プログラムがある。

【0050】

GUIプログラムは、クライアントPCが使用しているプログラムに応じて、各種内容をクライアントPCの表示機構で表示する。すなわち、GUIプログラムは、クライアントPCがプレゼンターとしての権限を有し、プレゼンテーションプログラムを使用しているときにはプレゼンテーションを実行するためのGUI画面を表示する。また、GUIプログラムは、クライアントPCがチェアマンとしての権限を有しているときには、TV会議制御プログラム、議事録制御プログラム、ユーザ認証／機器管理プログラムに応じたGUI画面を表示する。

【0051】

チェアマン端末は、ユーザ認証／機器管理プログラムを実行することにより、図4に示すように、他のクライアントPCを操作する出席者をアイコンで表示する出席者アイコン表示61を表示する。

【0052】

図4によれば、ユーザ認証された会議の出席者を図4(a)に示すように、第1の会議室10、第2の会議室30ごとに出席者アイコン表示画面61a、61bを表示する。ここで、チェアマン端末は、出席者の画像、名前を表示することで会議の出席者をチェアマンに視認可能とし、各参加者の映像が選択されることに応じて図4(b)に示すように選択された出席者の情報を表示する。

【0053】

また、チェアマン端末は、ユーザ認証がされていないが、ネットワーク会議システムに含まれるクライアントPCについてのアイコン表示を網掛け表示61cとし、ユーザ認証されているクライアントPCについてのアイコン表示を網掛けがされていない通常表示61dとする。

【0054】

更に、チェアマン端末は、ユーザ認証をするか否かを決定するための参加ボタン (Join) 62を表示する。チェアマン端末は、ユーザにより出席者アイコン表示が選択されて、参加ボタン62が選択されたときには、出席者アイコン表示に対応するクライアントPCに参加許可を与える。

【0055】

更に、チェアマン端末は、ユーザ認証／機器管理プログラムを実行することにより、図5に示すように、ネットワーク会議システムを構成する各種機器を示す使用可能機器表示63を表示する。このチェアマン端末は、第1の会議室10、第2の会議室30ごとに機器アイコン表示画面63a、63bを表示する。ここで、チェアマン端末は、各機器を表す画像をアイコンとして表示する。

【0056】

図5によれば、クライアントPCは、入力機器表示(IN) 64としてホワイトボード17a、3D画像入力装置17及びスキャナ装置19に対応するアイコンを表示し、出力機器(OUT) 表示65としてプロジェクタ装置15、データ表示装置16及びプリンタ装置18に対応するアイコンを表示する。更に、クライアントPCは、第1の会議室10内に存在するTV会議システム、会議サーバ11及び自身のPCをアイコンで表示する。

【0057】

更に、クライアントPCは、第2の会議室30に存在して通信ネットワーク1と接続する携帯型プロジェクタ装置32、プリンタ装置18等の機器をアイコンとして表示する。

【0058】

会議サーバ11は、図6に示すようなソフトウェア環境を有している。図6によれば、会議サーバ11は、例えばインターネット等の通信ネットワーク1外のネットワークと接続するためのネットワークインターフェースプログラム、ビデオキャプチャインターフェースプログラム、基本ソフト、議事録作成プログラム、機器認識プログラム、資料送受信プログラム、議事録制御プログラム、クライアントコントロールプログラムを格納している。

【0059】

会議サーバ11は、上記ネットワークインターフェースプログラムを実行することにより、例えばインターネット等の外部のネットワークとの通信を行う。

【0060】

会議サーバ11は、上記ビデオキャプチャインターフェースプログラムを実行することにより、例えば、TV会議システムにより生成されて第1の会議室10と第2の会議室30との間で送受信される映像データ等のキャプチャリングをし、議事録を作成するのに使用される静止画像データを作成する。また、会議サーバ11は、TV会議システムで撮像した映像や音声を、議事録ファイルとして保持する。

【0061】

会議サーバ11は、上記機器認識プログラムを実行することにより、ネットワーク会議システムに存在する各種機器を認識し、内部の機器リストファイルに登録する。

【0062】

会議サーバ11は、上記議事録作成プログラムを実行することにより、プレゼンテーション内容に係る静止画像データや、チェアマン端末が作成したメモデータ、TV会議システムで得てキャプチャリングした静止画像データ又は動画像データを用いて、時間軸に沿った議事録データを作成、編集等をする。

【0063】

会議サーバ11は、上記資料送受信プログラムを実行することにより、ネットワーク会議システムに存在する各種機器からの静止画像データを受信して保存する。また、この会議サーバ11は、資料送受信プログラムを実行することで、プロジェクタ装置15やプリンタ装置18、スキャナ装置19、ホワイトボード17a、データ表示装置16との間で定義されているプロトコル（JetSend）により、各種データをプリンタ装置18、データ表示装置16に出力して表示させる処理をする。

【0064】

会議サーバ11は、上記クライアントコントロールプログラムを実行することにより、ネットワーク会議システムに含まれるクライアントPCの制御、クライ

アントPCとの間のチャット、ファイル転送等を含む通信を制御する。

【0065】

このような機能を有する会議サーバ11は、図7に示すような構成を有している。ここで、会議サーバ11は基本ソフトとしてサーバ用基本ソフトに基づいて各機能を実行し、クライアントPCは個人ユーザ用基本ソフトに基づいて各機能を実行する。更にホワイトボード17aは、出席者により書き込まれた内容をデータ伝送プロトコル（例えばJetSendプロトコル）に従って会議サーバ11に送信する機能を有する。

【0066】

クライアントPCは、上述したようなプレゼンテーションプログラム、チャットプログラム、ファイル転送プログラム、議事録制御プログラム、ユーザ認証／機器管理プログラム、TV会議制御プログラムを備えている。

【0067】

会議サーバ11は、各種プログラムを備えたクライアントPCと通信をクライアントコントロール部41、参加者情報記憶部42、共有ファイル記憶部43、上記議事録制御プログラムを実行する議事録制御部44、データ記憶部45、上記資料送受信プログラムを実行する資料送受信部46、上記機器認識プログラムを実行する機器管理部47、情報ファイル記憶部48、上記議事録作成プログラムを実行する議事録作成部49、議事録データ記憶部50を備える。

【0068】

クライアントコントロール部41は、第1の会議室10内の複数のクライアントPC14と接続し、ユーザ認証、チャット、ファイル転送、TV会議制御に際して、各種情報、要求や各種データ等の管理をする。また、クライアントコントロール部41は、ユーザ認証、チャット、ファイル転送、TV会議制御以外の処理については、各種情報や、データ等の中継をして、会議サーバ11を構成する各部との間で入出力処理をする。

【0069】

クライアントコントロール部41は、プレゼンテーションを行っているときに、プレゼンター端末からプレゼンテーションデータを受信し、データ記

憶部 45 に記録する。また、クライアントコントロール部 41 は、会議を行っている最中においてチェアマン端末からのメモデータをデータ記憶部 45 に記憶する処理をする。

【0070】

また、クライアントコントロール部 41 は、チェアマン端末でユーザ認証を行うに際して、チェアマン端末からの会議参加許可に関する情報を他のクライアント PC に転送し、参加者情報ファイルを作成して参加者情報記憶部 42 に格納する。クライアントコントロール部 41 は、各クライアント PC を操作する出席者の氏名、メールアドレス、IP アドレス等を示す個人情報を受信し、複数の個人情報からなる参加者情報ファイルを作成して、参加者情報記憶部 42 に格納する処理をする。

【0071】

更にクライアントコントロール部 41 は、チャットを行うに際して、クライアント PC から送信されたチャットデータを他のクライアント PC に転送する。

【0072】

更にまた、クライアントコントロール部 41 は、ファイル転送を行うに際して、ファイル送信元のクライアント PC からのファイルを受信して、共有ファイル記憶部 43 に記憶する処理をし、ファイル転送先のクライアント PC にファイル転送が発生した旨の通知をする。クライアントコントロール部 41 は、ファイル送信先からのファイル転送要求に応じて、共有ファイル記憶部 43 に記憶したファイルを読み出して、ファイル送信先に送信する処理をする。

【0073】

議事録制御部 44 は、クライアントコントロール部 41 からの各種情報を用いて、図 8 に示すような議事ログファイルを作成する。この議事録制御部 44 は、所定の時間ごとに議事ログファイルを作成し、プレゼンテーション内容に係るデータ、プレゼンテーション時に使用したデータ、メモデータ、キャプチャしたデータ、各種情報を同期させる。

【0074】

議事録制御部 44 は、会議ごとの管理をするための会議管理情報、会議に参加

した出席者を管理するための出席者管理情報、プレゼンテーションに使用したプレゼンテーションデータを管理するためのプレゼンテーションデータ管理情報、使用した資料を管理するための資料管理情報、チェアマン端末により作成されたメモデータを管理するためのメモデータ管理情報等が格納される。また、議事録制御部44は、プレゼンテーションデータ管理情報、資料管理情報及びメモデータ管理情報と、時刻情報とを対応させて、議事ログファイルを作成する。

【0075】

議事録制御部44は、上記会議管理情報として、例えば議題、会議を行った日付、会議室名を示す情報を使用する。

【0076】

また、議事録制御部44は、出席者管理情報として、例えばチェアマン端末を操作するユーザの氏名、プレゼンター端末を操作するユーザの氏名、アテンダント端末を操作するユーザの氏名を使用する。

【0077】

更に、議事録制御部44は、上記資料管理情報として、例えば上記TV会議システムでキャプチャした静止画像データのファイル名や、各種情報を上記出力機器へ出力した資料データのファイル名、上記入力機器から入力した資料データのファイル名、例えば第2の会議室30から入力した資料データのファイル名を使用する。議事録制御部44は、各種ファイル名と、出席者やクライアントPCに提示又は入力した時刻を示す時刻情報とを、対応付けた議事ログファイルを作成する。

【0078】

更にまた、議事録制御部44は、上記プレゼンテーションデータ管理情報として、例えばプロジェクタ装置15から出力したプレゼンテーションデータのファイル名を使用する。議事録制御部44は、プレゼンテーションデータのファイル名と、プレゼンテーションデータに係る内容をプロジェクタ装置15に提示したときの時刻を示す時刻情報とを、対応付けた議事ログファイルを作成する。

【0079】

更にまた、議事録制御部44は、メモデータ管理情報として、チェアマン端末

が生成したメモデータの内容を使用する。議事録制御部 44 は、メモの内容と、チェアマン端末からクライアントコントロール部 41 にメモデータが送信されたときの時刻を示す時刻情報とを、対応付けた議事ログファイルを作成する。

【0080】

議事録制御部 44 は、議事ログファイルを作成するに際して、上記会議管理情報、出席者管理情報、プレゼンテーションデータ管理情報、資料管理情報、メモデータ管理情報を、タイプ別に区別する。

【0081】

資料送受信部 46 は、プロジェクタ装置 15 及びホワイトボード 17a とハブ 12 を介して接続され、プロジェクタ装置 15 及びホワイトボード 17a を制御する。この資料送受信部 46 は、プロジェクタ装置 15 及びホワイトボード 17a と同じデータ伝送プロトコル（例えば Jet Send プロトコル）に従ってプレゼンテーションデータや資料データのデータ伝送をする。

【0082】

資料送受信部 46 は、プロジェクタ装置 15 で表示スクリーン 15a にプレゼンテーション内容を表示させるときには、データ記憶部 45 に格納されたプレゼンテーションデータを読み出してプロジェクタ装置 15 に出力する。

【0083】

また、資料送受信部 46 は、データ表示装置 16、プリンタ装置 18 で資料を表示、印刷するときには、データ記憶部 45 から資料データを読み出して出力する。

【0084】

また、資料送受信部 46 は、ユーザによりホワイトボード 17a に書き込まれた内容を例えば所定の時間間隔ごとに読み取り処理をするようにホワイトボード 17a を制御して、ホワイトボード 17a に書き込まれた内容を受信してデータ記憶部 45 に記憶する。

【0085】

機器管理部 47 は、ネットワーク会議システムに含まれるクライアント PC、各種機器を認識し、各機器に関する機器情報をファイル化した機器情報ファイル

を作成し、機器情報ファイル記憶部 48 に格納する。機器管理部 47 は、各機器に関する機器情報として、例えば機器名、機種、IP アドレス等を得て、機器情報ファイルを作成する。この機器情報ファイルは、クライアントコントロール部 41 により参照されて、各クライアント PC に転送される。これにより、各クライアント PC がネットワーク会議システムに含まれる各機器を認識する。

【0086】

データ記憶部 45 には、議事録制御部 44 により作成された会議ごとの議事ログデータを含む議事ログファイルが格納され、議事録データ作成時に議事録作成部 49 により読み出される。

【0087】

また、データ記憶部 45 には、プレゼンテーションデータを含むプレゼンテーションファイルが格納され、プレゼンター端末からのプレゼンテーションデータがクライアントコントロール部 41 を介して入力されて、プレゼンテーションファイルに追加する処理をする。このデータ記憶部 45 は、プレゼンテーションを行うときや、議事録データ作成時に議事録作成部 49 により読み出される。

【0088】

更に、データ記憶部 45 には、スキャナ装置 19 やホワイトボード 17a で得た資料データを含む資料ファイルが格納され、静止画像データが資料送受信部 46 を介して入力されて、資料ファイルに追加する処理をする。このデータ記憶部 45 は、議事録データ作成時や、資料提示時に読み出される。

【0089】

更にまた、データ記憶部 45 には、TV 会議システムで得てキャプチャされた静止画像データ又は動画像データを含む議事映像ファイルが格納され、キャプチャして得た映像データ及び音声データが資料送受信部 46 を介して入力されて議事映像ファイルに格納に追加する処理をする。このデータ記憶部 45 は、資料提示時や、議事録データ作成時に読み出される。

【0090】

議事録作成部 49 は、議事録制御部 44 で作成した議事ログファイルを解析し、プレゼンテーションデータ、資料データ、静止画像データ又は動画像データ、

音声データ、メモデータを時間軸に沿った形態で編集した議事録データを作成して、議事録データ記憶部50に格納する。

【0091】

このとき、議事録作成部49は、図9に示すように、データ記憶部45から、議事ログファイル71、プレゼンテーションファイル（PPTファイル）72、スキャナ装置19やホワイトボード17aで表示した資料を格納した資料ファイル73、TV会議システムで撮像した議事映像ファイル74を読み出し、議事ログファイル71の内容に基づいて各データの関連を認識して、同じ時間軸に表示する。この議事録作成部49は、議事ログファイルごとに、時間軸に従って各種データを同期させた議事録データを作成する。

【0092】

議事録作成部49は、他の機器で閲覧させるに際して表示形態が異なる形式の議事録データを作成する。議事録作成部49は、図10に示すように、会議名、プレゼンテータ名、プレゼンテーションデータ表示領域81、プレゼンテータの映像表示領域82、ホワイトボード17aの表示領域83、データ表示装置16で表示した内容を表示する表示領域84、メモデータ表示領域85等を1画面内で分割表示して会議の内容を時間軸に沿った形態で表示させる議事録データ（議事録Webファイル）を作成する。

【0093】

また、議事録作成部49は、プレゼンテーション内容、プレゼンテータの映像、ホワイトボード17aの表示内容、メモデータ等を静止画像ファイルにして、各静止画像ファイルをサムネイル表示して、会議の全体の概要を閲覧者に視認させるように表示させる形態の議事録データ（Index.html）を作成する。

【0094】

つぎに、上述したネットワーク会議システムにおいて、複数のクライアントPCで会議を行うときの権限に応じた表示画面について説明する。

【0095】

ネットワーク会議システムの各クライアントPCは、先ず、図11（a）に示

すように、会議プログラムを起動し、会議サーバ 11 が存在する会議室（第 1 の会議室 10、Remote）であるか、会議サーバ 11 が存在しない会議室（第 2 の会議室 30、Local）であるかの選択をするための表示画面を表示する。ここで、クライアント PC は、上述の第 1 の会議室 10 を選択して次の表示画面（図 11（b））に遷移する。

【0096】

次に、クライアント PC は、図 11（b）に示す表示画面の上段部に表示されたチェアマン、プレゼンター、アテンダントのいずれかの権限を取得するためのタブ 91 を選択することで、権限を取得する処理がなされた後において、図 12、図 13 又は図 14 に示すいずれかの画面に遷移する。

【0097】

チェアマンの権限を取得すると、クライアント PC 14 は、チェアマン端末となり、図 12 に示すように、プレゼンテーション内容を表示するためのビューボタン（View）92、他のクライアント PC とチャットをするためのチャットボタン（Chat）93、ファイル転送をするためのファイル転送ボタン（File Trasfer）94、会議サーバ 11 を制御する制御コマンドを発生させるための制御ボタン（Control）95 を表示する。また、チェアマン端末は、使用可能機器表示 63、出席者アイコン表示画面 61 の表示をする。

【0098】

プレゼンターの権限を取得すると、クライアント PC 14 は、プレゼンター端末となり、図 13 に示すように、プレゼンテーションを行ってプロジェクタ装置 15 で表示している内容を示すビューア表示 96、プレゼンテーションデータの格納場所をディレクトリ表示するとともに、指定しているファイルをビューア表示するファイルセクタ表示 97 をする。また、プレゼンター端末は、使用可能機器表示 63 を表示する。

【0099】

アテンダントの権限を取得すると、クライアント PC 14 は、アテンダント端末となり、図 14 に示すように、プレゼンテーションを行ってプロジェクタ装置 15 で表示している内容を示すビューア表示 98、ユーザが個人的なメモをする

ための個人メモ表示 99 をする。また、アテンダント端末は、チャットを行うためのチャットボタン 100、ファイル転送を行うためのファイル転送ボタン 101、出席者アイコン表示画面 61 を表示する。

【0100】

一方、会議サーバ 11 が存在しない第 2 の会議室 30 に存在するクライアント PC 33 は、先ず、会議を行うためのアプリケーションプログラムを起動し、会議サーバ 11 が存在する会議室（第 1 の会議室 10、Remote）であるか、会議サーバ 11 が存在しない会議室（第 2 の会議室 30、Local）であるかの選択をするための表示画面を表示する（図 15（a））。ここで、クライアント PC 33 は、上述の第 2 の会議室 30 を選択して次の表示画面に遷移する（図 15（b））。

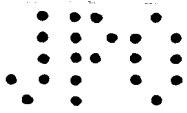
【0101】

次に、クライアント PC 33 は、図 15（b）に示す表示画面の上段部に表示されたチェアマン、プレゼンター、アテンダントのいずれかの権限を取得するためのタブ 91 を選択することで、権限を得る処理がなされた後において、図 16、図 17 又は図 18 に示すいずれかの画面に遷移する。

【0102】

第 2 の会議室 30 に存在するクライアント PC 33 がチェアマンの権限を取得すると、チェアマン端末となり、図 16 に示すように、第 2 の会議室 30 内の無線ネットワークで利用可能な機器をアイコンで示す機器表示画面 102、第 2 の会議室 30 内の出席者をアイコンで示す出席者アイコン表示画面 103 を表示する。また、チェアマン端末は、プレゼンテーション内容をビューア表示するためのビューア表示ボタン（View）104、他のクライアント PC とチャットをするためのチャットボタン（Chat）105、会議サーバ 11 を制御する制御コマンドを発生させるための制御ボタン（Control）106、ファイル転送をするためのファイル転送ボタン（File Trasfer）107 を表示する。更に、チェアマン端末は、ユーザ認証をするための参加ボタン 108、出席者を全指定するための全指定ボタン 109 を表示する。

【0103】



また、第2の会議室30に存在するクライアントPC33がプレゼンター端末の権限を取得すると、プレゼンター端末となり、図17に示すように、機器表示画面102、ファイルセクタ表示110、ビューア表示111をする。

【0104】

更に、第2の会議室30に存在するクライアントPC33がアテンダント端末の権限を取得すると、アテンダント端末となり、図18に示すように、出席者アイコン表示画面103とともに、全指定ボタン112、チャットボタン113、ファイル転送ボタン114、プレゼンテーションの内容及び個人的なメモを記述するための領域を有するビューア表示115をする。

【0105】

つぎに、上述のネットワーク会議システムにおいて、会議の参加、退出を行うときのアテンダント端末及びプレゼンター端末の処理手順、チェアマン端末の処理手順、クライアントコントロール部41の処理手順について図19及び図20に示すフローチャートを参照して説明する。

【0106】

先ず、会議サーバ11の機器管理部47は、機器認識プログラムを起動して、会議を開始する前に、ネットワーク会議システムに含まれる上述の各種機器についての機器情報を得て、機器情報ファイルとして機器情報ファイル記憶部48に格納する処理をする。

【0107】

次に、機器管理部47は、機器認識プログラムにより、作成した機器情報ファイルに含まれる機器の利用可否の監視をする状態となる。また、資料送受信部46はプロジェクタ装置15やデータ表示装置16に表示させるためのデータ及びクライアントPCからの要求待ち、及びプリンタ装置18、スキャナ装置19からのデータ入力待ちとなり、クライアントコントロール部41はクライアントPCからの要求待ちとなる。

【0108】

一方、アテンダント端末、プレゼンター端末、チェアマン端末は、GUIプログラムを起動し、それぞれ図21(A1-1)、図22(P1-1)、図23

(C1-1) に示すような内容を表示し (ステップST1、ステップST21)、各クライアントPCは、第1の会議室10を選択する (ステップST2、ステップST22)。

【0109】

次に、各クライアントPCは、図21 (A1-2)、図22 (P1-2)、図23 (C1-2) に示すような画面を表示し、個人情報を含む会議参加リクエストをクライアントコントロール部41に送信する (ステップST3、ステップST23)。

【0110】

次に、クライアントコントロール部41は、会議参加リクエストに含まれる個人情報を用いて、参加者情報ファイルを作成し (ステップST11)、他のクライアントPCが新たな会議参加者として存在することを通知する。

【0111】

次に、クライアントコントロール部41は、チェアマン端末が存在するか否かを判定し (ステップST12)、チェアマン端末が存在しないときには、チェアマン不在通知を全てのクライアントPCに送信する (ステップST13)。

【0112】

これに対し、他のクライアントPCは、クライアントコントロール部41からのチェアマン不在通知に応じて、図21 (A1-2)、図22 (P1-2)、図23 (C1-2) におけるチェアマンのタブを選択可能とし、チェアマン端末として会議に参加することが可能な状態とする (ステップST4、ステップST24)。

【0113】

次に、図21 (A1-2)、図22 (P1-2)、図23 (C1-2) 中の矢印で示すように、ユーザの操作に応じてアテンダント、プレゼンター、チェアマン端末の権限を取得するためのタブが選択されると、チェアマンが操作するクライアントPCは、チェアマン端末として会議に参加することを要求するチェアマン参加要求をクライアントコントロール部41に送信する (ステップST25)。これに応じ、チェアマン端末は、図23 (C1-3) に示すようなチェアマ

ン用の表示画面に切り替わる。

【0114】

クライアントコントロール部41は、チェアマン参加要求を受信すると、チェアマン参加要求を送信したクライアントPCに対して、TV会議制御プログラム、議事録制御プログラム、ユーザ認証／機器管理プログラムを起動して行う処理を可能とすることで、チェアマン端末としての権限を与える。

【0115】

次に、クライアントコントロール部41は、チェアマン参加通知をアテンダント端末、プレゼンタータ端末に送信する（ステップST14）。

【0116】

次に、アテンダント端末、プレゼンタータ端末は、チェアマン参加通知に応じて、チェアマン端末の参加を認識し（ステップST5）、アテンダント端末又はプレゼンタータ端末として会議に参加することを要求するアテンダント参加要求又はプレゼンタータ参加要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップST6）。

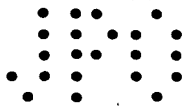
【0117】

これに対し、クライアントコントロール部41は、ステップST11で受信した個人情報を参加者情報記憶部42から取り出して、チェアマン端末に送信する（図20、ステップST15）。

【0118】

次に、チェアマン端末は、送信された個人情報を参照して、ユーザ認証処理をし、参加を許可する参加許可情報をクライアントコントロール部41に送信する（図20、ステップST26）。このとき、チェアマン端末は、図23（C1-4）に示すような表示画面が表示されているときにおいて、図中の矢印で示すように、参加許可の対象となるクライアントPCに対応したアイコン表示が選択されるとともに、参加（Join）ボタン61aが選択されるように、チェアマンに操作されることで、参加許可情報を生成してクライアントコントロール部41に送信する。

【0119】



次に、クライアントコントロール部 41 は、チェアマン端末からの参加許可情報をアテンダント端末又はプレゼンタータ端末に送信する（ステップ S T 16）。

【0120】

次に、アテンダント端末は、参加許可情報を受信すると（図 20、ステップ S T 7）、図 21（A 1-3）に示すようにアテンダント用の表示画面に表示変更をするとともに（ステップ S T 8）、プレゼンタータ端末は参加許可情報を受信すると（ステップ S T 7）、図 22（P 1-3）に示すように、プレゼンタータ用の表示画面に表示変更をする（ステップ S T 8）。

【0121】

これにより、チェアマン端末、プレゼンタータ端末及びアテンダント端末によるネットワーク会議システムを利用した会議を行う。

【0122】

次いで、会議が終了した場合、或いはアテンダント端末又はプレゼンタータ端末が会議を途中で退出する場合には、アテンダント端末又はプレゼンタータ端末は、図 21（A 1-4、P 1-4）の矢印で示すように、終了（Quit）ボタン 91a が選択されたことに応じて会議退出要求を生成して、クライアントコントロール部 41 に送信する（ステップ S T 9）。

【0123】

クライアントコントロール部 41 は、会議退出要求を受信すると（ステップ S T 17）、会議退出通知をチェアマン端末に通知して（ステップ S T 18）、参加者情報記憶部 42 の参加者情報ファイルの内容を更新する（ステップ S T 19）。

【0124】

チェアマン端末は、会議退出通知を受信すると（ステップ S T 15）、図 14（C 1-5）の矢印で示すように退出した参加者表示を網掛け表示するように、参加者を表示している表示画面を更新する。

【0125】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、入力機器を指定するとともに、

出力機器にプロジェクタ装置 15 を指定してプレゼンテーションを行うときのプレゼンテータ端末の処理手順、クライアントコントロール部 41 の処理手順、アテンダント端末及びチェアマン端末の処理手順について図 24 を参照して説明する。

【0126】

プレゼンテータ端末は、先ず、図 25 (P2-1) の使用可能機器表示 63 で表示されている現在使用可能な入力機器のうち、どの入力機器で取り込んだデータを用いてプレゼンテーションを行うかを選択する (ステップ ST31)。すなわち、プレゼンテータ端末は、プレゼンテーションに使用する資料を作成した入力機器、及びその入力機器で作成した資料を選択する。

【0127】

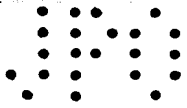
プレゼンテータ端末は、入力機器を選択すると、入力機器で取り込んでデータ記憶部 45 に記憶されている資料ファイルを選択するためのファイルセレクト表示 97、プレビュー表示 96 をし、プレゼンテーションで使用する資料データをプレゼンテータに提示する。そして、プレゼンテータ端末は、プロジェクタ装置 15 を出力機器として選択がされると、資料提示要求をクライアントコントロール部 41 に送信する。

【0128】

次に、クライアントコントロール部 41 は、資料データ、出力機器としてプロジェクタ装置 15 を指定した資料提示要求を受け付けると (ステップ ST41)、データ記憶部 45 から指定された資料データを読み出し、資料送受信部 46 によりプロジェクタ装置 15 で表示させる処理をする (ステップ ST42)。また、クライアントコントロール部 41 は、プロジェクタ装置 15 で提示する資料をアテンダント端末及びチェアマン端末に送信する。

【0129】

アテンダント端末及びチェアマン端末では、クライアントコントロール部 41 から送信された資料データの内容を表示させる処理をすることで、図 25 (A2-1、C2-1) で示すように、資料を提示する処理をする (ステップ ST51)。

**【0130】**

これにより、プレゼンター端末は、プロジェクタ装置15で投影する処理をするとともに、アテンダント端末及びチェアマン端末の表示画面に資料を提示してプレゼンテーションをすることができる。

【0131】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、入力機器を指定するとともに、出力機器にデータ表示装置16及びプリンタ装置18を指定してプレゼンテーションを行うときのプレゼンター端末の処理手順、クライアントコントロール部41の処理手順、資料送受信部46の処理手順について図26を参照して説明する。

【0132】

プレゼンター端末は、先ず、図27(P2-2)に示すように表示されている現在使用可能な入力機器のうち、どの入力機器で取り込んだ資料データを用いてプレゼンテーションを行うかを選択する(ステップST61)。

【0133】

プレゼンター端末は、入力機器を選択すると、入力機器で取り込んでデータ記憶部45に記憶されている資料ファイル、資料データを選択するためのファイルセレクト表示97、プレビュー表示96をし、プレゼンテーションで使用する資料データをプレゼンターに提示する。プレゼンター端末は、プレゼンテーションで使用する資料ファイル、資料データの選択、データ表示装置16及びプリンタ装置18出力機器として選択がされると、資料提示要求をクライアントコントロール部41に送信する。

【0134】

次に、クライアントコントロール部41は、資料ファイル、出力機器としてデータ表示装置16及びプリンタ装置18を指定した資料提示要求を受け付けると(ステップST71)、データ記憶部45から指定された資料ファイルを読み出し、資料送受信部46によりデータ表示装置16で表示させるとともに、プリンタ装置18で印刷処理をさせる処理をする(ステップST72)。このとき、資料送受信部46は、例えばJetSendプロトコルに従って、データ表示装置

16及びプリンタ装置18に資料データを送出する。

【0135】

これにより、プレゼンター端末は、データ表示装置16に表示するとともに、プリンタ装置18で印刷処理をすることで、アテンダント及びチェアマンに資料を提示してプレゼンテーションをすることができる。

【0136】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、データ記憶部45に予め格納されているプレゼンテーションファイルを選択して、プレゼンテーションを行うときのプレゼンター端末の処理手順、クライアントコントロール部41の処理手順、アテンダント端末及びチェアマン端末の処理手順について図28を参照して説明する。

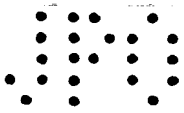
【0137】

図28によれば、プレゼンター端末は、図30(P3-1)に示すように、ファイルセクタ表示97をするとともに、使用可能な出力機器を表示する使用可能機器表示63、プレビュー表示96をする。プレゼンター端末は、図30(P3-1)中の矢印で示すように、ファイルセクタ表示97に表示されているファイルから、プレゼンテーションに使用するプレゼンテーションファイルを選択し、プレゼンテーション内容を出力する出力機器(例えばプロジェクタ装置15)にドラックする。これにより、プレゼンター端末は、プレゼンテーションファイル及び出力機器を指定した資料提示要求をクライアントコントロール部41に送信する(ステップST91)。

【0138】

次に、クライアントコントロール部41では、資料提示要求を受け付け(ステップST101)、プロジェクタ装置15でプレゼンテーション内容を表示するように資料送受信部46を制御する(ステップST102)。また、クライアントコントロール部41は、プロジェクタ装置15で表示させているプレゼンテーション内容をデータ記憶部45から読み出して、アテンダント端末及びチェアマン端末に送信する処理をする。

【0139】



これに対し、アテンダント端末及びチェアマン端末は、クライアントコントロール部 41 からのプレゼンテーションファイルを用いて、図 29 (A3-1、C3-1) に示すように、プロジェクタ装置 15 で表示している内容と同じプレゼンテーション内容をビューア表示する (ステップ ST111)。

【0140】

一方、ステップ ST91 の次に、プレゼンター端末は、図 30 (P3-2) に示すように、資料提示要求で指定したプレゼンテーションファイルをプレビュー表示 96 をする (ステップ ST92)。ここで、プレゼンター端末は、プレビュー表示 96 内に、プレゼンテーション内容をプレビュー表示しているときにプレビューしている内容を補助するためのプロンプタ表示画面 96c を表示する。これにより、プレゼンターは、発表時の参考用のメモ等をプレゼンター端末のみに表示して、プレゼンテーションを行うことができる。これにより、プレゼンターの利用性を向上させる。

【0141】

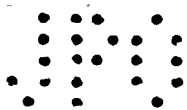
次に、プレゼンター端末は、プレゼンターの操作に応じて、図 30 (P3-3) 中の矢印で示すように、ページ送りボタンが 96a 選択されると、ページ送り要求をクライアントコントロール部 41 に送信する (ステップ ST93)。

【0142】

次に、クライアントコントロール部 41 は、受信したページ送り要求に従ってデータ記憶部 45 から次又は前のページを示すプレゼンテーションファイルを読み出して、資料送受信部 46 を介してプロジェクタ装置 15 で表示する資料を切り換える処理をする (ステップ ST103)。また、クライアントコントロール部 41 は、プロジェクタ装置 15 に出力してプレゼンテーションファイルと同じファイルをアテンダント端末及びチェアマン端末に送信する。

【0143】

次に、アテンダント端末及びチェアマン端末は、図 29 (A3-2)、図 31 (C3-2) に示すように、クライアントコントロール部 41 から入力された次又は前ページを示すプレゼンテーションファイルの内容を表示することでページを切り換える処理をする (ステップ ST112)。

**【0144】**

プレゼンター端末は、図30 (P3-4) の矢印で示すように、ビューア終了ボタン96bが選択されると、プレビュー表示96を終了して、プレゼンテーション終了要求をクライアントコントロール部41に送信する (ステップST94)。

【0145】

次に、クライアントコントロール部41は、プレゼンテーションを終了するようにプロジェクタ装置15を制御するとともに、プレゼンテーション終了要求をアテンダント端末及びチェアマン端末に出力する処理をする (ステップST104)。

【0146】

次に、アテンダント端末及びチェアマン端末は、図29 (A3-3)、図31 (C3-3) に示すように、ビューア表示98、ビューア表示116を初期画面とする処理をする (ステップST113)。

【0147】

これにより、プレゼンター端末は、予め用意した複数のページからなるプレゼンテーションファイルを用いて、プロジェクタ装置15、アテンダント端末及びチェアマン端末にプレゼンテーション内容を提示するとともに、ページ切替をしながらプレゼンテーションを行うことができる。

【0148】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、データ記憶部45に予め用意されているプレゼンテーションファイルを選択して、データ表示装置16でプレゼンテーションを行うときのプレゼンター端末の処理手順、クライアントコントロール部41の処理手順、資料送受信部46の処理手順について図32を参照して説明する。

【0149】

図32によれば、プレゼンター端末は、図33 (P3-5) に示すように、ファイルセクタ表示画像97を表示するとともに使用可能機器表示画像63を表示する。プレゼンター端末は、プレゼンターの操作により、プレゼンター

ションに使用するプレゼンテーションファイルを選択し、プレゼンテーション内容を出力するデータ表示装置 16 にドラックする。これにより、プレゼンター端末は、プレゼンテーションファイル及び出力機器としてデータ表示装置 16 を指定した資料提示要求をクライアントコントロール部 41 に送信する（ステップ ST121）。

【0150】

次に、クライアントコントロール部 41 では、資料提示要求を受け付け（ステップ ST131）、データ記憶部 45 から指定されたプレゼンテーションファイルを取り出して、データ表示装置 16 でプレゼンテーション内容を表示するように資料送受信部 46 を制御する（ステップ ST132）。これにより、資料送受信部 46 は、取り出されたプレゼンテーションファイルを所定のプロトコルに従ってデータ表示装置 16 に送信して、データ表示装置 16 にプレゼンテーション内容を表示させる制御をする（ステップ ST141）。このとき、クライアントコントロール部 41 は、プロジェクタ装置 15 にプレゼンテーション内容を表示させていないので、アテンダント端末及びチェアマン端末でプレゼンテーション内容を表示させる処理をしない。

【0151】

一方、ステップ ST121 の次に、プレゼンター端末は、図 33（P3-6）に示すように、プレゼンテーション内容をプレビュー表示部 96 にビューア表示する（ステップ ST122）。

【0152】

次に、プレゼンター端末は、プレゼンタータの操作に応じて、図 33（P3-7）中の矢印で示すように、ページ送りボタン 96a が選択されると、ページ送り要求をクライアントコントロール部 41 に送信する（ステップ ST123）。

【0153】

次に、クライアントコントロール部 41 は、受信したページ送り要求に従ってデータ記憶部 45 から次又は前のページを示すプレゼンテーションデータを読み出して、資料送受信部 46 を介してプロジェクタ装置 15 で表示するプレゼンテ

ーション内容を切り換える処理をする（ステップST133）。

【0154】

次に、資料送受信部46は、データ表示装置16にプレゼンテーションデータ
を出力して、ページを切り換える処理をする（ステップST142）。

【0155】

プレゼンテータ端末は、図33（P3-8）の矢印で示すように、ビューア終
了ボタン96bが選択されると、ビューア表示画像96を表示終了して、プレゼ
ンテーション終了要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップ
ST124）。

【0156】

次に、クライアントコントロール部41は、プレゼンテーションを終了するよ
うにデータ表示装置16を制御するとともに、資料送受信部46に出力する処理
をする（ステップST134）。

【0157】

次に、資料送受信部46は、データ表示装置16を初期画面とする処理をする
（ステップST143）。

【0158】

これにより、プレゼンテータ端末は、予め用意した複数のページからなるプレ
ゼンテーションファイルを用いて、データ表示装置16にプレゼンテーション内
容を提示するとともに、ページ切換をしながらプレゼンテーションをさせるよう
に資料送受信部46を制御することができる。

【0159】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて会議を行っているときに、クライ
アントPC間でチャットを行うときのチャットメッセージ送信側の第1のクライ
アントPC、クライアントコントロール部41、チャットメッセージ受信側の第
2のクライアントPCの処理手順を図34を参照して説明する。なお、以下の説
明では、第1のクライアントPCは、アテンダント端末であり、第2のクライア
ントPCは、アテンダント端末又はチェアマン端末である一例について説明する
。

【0160】

図34によれば、第1のクライアントPCは、先ず、ユーザの操作により図35（A4-1）中の矢印で示すように、チャットボタン（Chat）100が指定されると、チャットメッセージ作成画面123、チャットメッセージ受信画面124を含むチャット表示画面（図35（A4-2））を表示する（ステップST152）。

【0161】

次に、第1のクライアントPCは、図35（A4-3）中の矢印で示すように、出席者アイコン表示画面61から、チャットメッセージ送信先の第2のクライアントPCを示すアイコン表示を選択することでユーザ選択をして、チャット開始要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップST153）。

【0162】

次に、クライアントコントロール部41は、チャット開始要求を受信すると（ステップST161）、会議に参加している全てのクライアントPCにチャット開始通知を送信する（ステップST162）。

【0163】

次に、第2のクライアントPCは、チャット開始通知を受信すると、チャット開始をし（ステップST171）、チャット表示画面を表示をする（ステップST172）。

【0164】

次に、第1のクライアントPCは、図35（A4-4）中の矢印で示すように、チャットメッセージ作成画面123を用いたチャットメッセージの作成をし（ステップST154）、チャットメッセージを作成したら、図36（A4-5）中の矢印で示すように、チャットメッセージ作成画面123内の送信ボタン（Send）125を選択することでチャットメッセージをクライアントコントロール部41に送信する（ステップST155）。このとき、第1のクライアントPCは、チャットメッセージに第2のクライアントのアドレス等の付加情報を付加する。

【0165】

次に、クライアントコントロール部 41 は、第 1 のクライアント PC からチャットメッセージを受信すると（ステップ ST163）、チャットメッセージから送信先の第 2 のクライアント PC を認識して、チャットメッセージを第 2 のクライアント PC に送信する（ステップ ST164）。

【0166】

次に、第 2 のクライアント PC は、図 36（A4-7）に示すように、チャットメッセージ受信画面 124 に第 1 のクライアント PC からのチャットメッセージを表示する（ステップ ST173）。

【0167】

また、第 2 のクライアント PC は第 1 のクライアント PC にチャットメッセージを返信するときには、返信内容を記述したチャットメッセージをクライアントコントロール部 41 に送信する。これに応じて、クライアントコントロール部 41 は、チャットメッセージを第 1 のクライアント PC に送信する処理をする。

【0168】

これにより、ネットワーク会議システムにおいて、チャットを行うときであっても、クライアントコントロール部 41 により、チャットメッセージを中継することにより、第 1 のクライアント PC と第 2 のクライアント PC との間でチャットメッセージの送受信をすることができる。

【0169】

ここで、会議サーバ 11 は、議事録作成モードとなっても、クライアント PC 間で送受信されるチャットメッセージは、データ記憶部 45 に格納する処理はしない。

【0170】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、会議を行っているときに、第 1 のクライアント PC から第 2 のクライアント PC にファイル転送をするときの処理手順について図 37 を参照して説明する。

【0171】

図 37 によれば、第 1 のクライアント PC は、先ず、ユーザの操作により図 38（A5-1）中の矢印で示すように、ファイル転送ボタン（File Transfer）

101が指定されると、ファイル転送開始要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップST181）。

【0172】

次に、第1のクライアントPCは、図38（A5-2）に示すように、内部のHDD等に格納されているファイルから、転送するファイルを選択するためのファイルセクタ表示画面97を表示をする（ステップST182）。

【0173】

次に、第1のクライアントPCは、図38（A5-3）中の矢印で示すように、ファイルセクタ表示画面97から、転送するファイルを選択する処理をする（ステップST183）。

【0174】

次に、第1のクライアントPCは、図38（A5-4）中の矢印で示すように、出席者アイコン表示画面61から、チャットメッセージ送信先の第2のクライアントPCを示すアイコン表示を選択する（ステップST184）。

【0175】

次に、第1のクライアントPCは、ステップST183で選択されたファイルを、ステップST184で選択された参加者が操作をする第2のクライアントPCに転送することを指定したファイル転送要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップST185）。

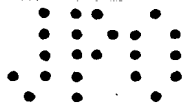
【0176】

次に、クライアントコントロール部41は、ファイル転送要求に含まれるファイルを共有ファイル記憶部43に格納し、ファイル転送要求に含まれる第2のクライアントのアドレスを付加したファイル転送要求通知を第2のクライアントPCに送信する（ステップST191）。

【0177】

次に、第2のクライアントPCは、クライアントコントロール部41からのファイル転送要求通知を受信すると、図39（A5-5）に示すように、転送要求メッセージを表示する処理をする（ステップST201）。

【0178】



次に、第2のクライアントPCは、転送要求メッセージに応じてユーザがファイル転送を保管する、すなわち「Yes」を選択したときには、図39(A5-6)に示すように、内部のHDD等の保管場所を指定するためのファイルコピー先を指定する画面を表示する(ステップST202)。

【0179】

次に、第2のクライアントPCは、共有ファイル記憶部43に格納された転送ファイルを複製することで、ステップST202で指定した保管場所に保存する(ステップST203)。

【0180】

これにより、ネットワーク会議システムにおいて、会議を行っているときにおいても、クライアントコントロール部41により転送するファイルを一旦共有ファイル記憶部43に格納することにより、第1のクライアントPCから第2のクライアントPCにファイル転送をすることができる。

【0181】

つぎに、ネットワーク会議システムにおけるユーザ認証処理、機器管理処理について図40を参照して説明する。

【0182】

機器管理部47は、会議サーバ11の起動時において、機器認識プログラムに従って動作することで、会議で利用可能な機器に関する情報を含む機器情報ファイルを作成して、機器情報ファイル記憶部48に格納しておく。

【0183】

また、クライアントコントロール部41は、会議サーバ11の起動時において、各クライアントPCに対応した複数の個人情報からなる参加者情報ファイルを作成して、参加者情報記憶部42に格納しておく。

【0184】

チェアマン端末は、会議の開始前において起動したときに、利用可能機器をクライアントコントロール部41に問い合わせる処理をする(ステップST231)。これに対し、クライアントコントロール部41は、機器情報ファイル記憶部48に格納されている機器情報ファイルを読み出し、利用可能機器に関する情報

を検索して、利用可能機器に関する情報をチェアマン端末に送信する（ステップ S T 2 2 1）。

【0185】

また、チェアマン端末は、会議の開始前において起動したときに、会議の参加者に関する情報をクライアントコントロール部 4 1 に問い合わせる処理をする（ステップ S T 2 3 2）。これに対し、クライアントコントロール部 4 1 は、参加者情報記憶部 4 2 に格納された参加者情報ファイルを読み出して、個人情報を検索し、会議に参加するクライアント P C に関する個人情報をチェアマン端末に送信する（ステップ S T 2 2 2）。チェアマン端末は、クライアント P C に関する情報を受信すると、出席者アイコン表示画面 6 1 を表示する（ステップ S T 2 3 3）。

【0186】

ここで、会議サーバ 1 1 の機器管理部 4 7 は、会議中において、ネットワーク会議システムに含まれる各種機器の電源オン／オフ状態を監視し、電源のオン／オフの動作を検出したら（ステップ S T 2 1 1）、各種機器の I D、電源のオン／オフ状態を含む電源変化通知をクライアントコントロール部 4 1 に送信する（ステップ S T 2 1 2）。

【0187】

これに応じ、クライアントコントロール部 4 1 は、電源変化通知を受信すると、チェアマン端末に送信する処理をする（ステップ S T 2 2 3）。チェアマン端末は、電源変化通知を受けると（ステップ S T 2 3 4）、電源変化通知に含まれる機器についての使用可能機器表示画面 6 3 を変更させる（ステップ S T 2 3 5）。チェアマン端末は、電源がオフとなった機器のアイコン表示を編みかけ表示とし、電源がオンとなった機器のアイコン表示を通常表示とする。

【0188】

これにより、チェアマン端末は、会議開始前において、図 4 1（C 6 - 1）に示すように、利用可能な機器をアイコン表示した使用可能機器表示画面 6 3 を表示するとともに、会議に参加するクライアント P C をアイコン表示した出席者アイコン表示画面 6 1 を表示する。

【0189】

つぎに、新たにクライアントPCがアテンダント端末として会議に参加するときのクライアントPC、クライアントコントロール部41及びチェアマン端末の処理について図42を参照して説明する。

【0190】

新たに会議に参加するクライアントPCは、起動すると、先ず、図43（A6-1）に示すように、サーバセレクト表示画面を表示し（ステップST241）、ユーザの選択により、例えば、「Remote」、「第1」を指定して第1の会議室10を選択するものとする（ステップST242）。

【0191】

次に、クライアントPCは、図43（A6-2）中の矢印で示すように、アテンダントのタブがユーザの操作により選択されると、アテンダント端末として会議に参加することを要求する会議参加要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップST243）。ここで、クライアントPCは、会議参加要求に個人情報を付加する処理をする。

【0192】

次に、クライアントコントロール部41は、会議参加要求を受け付けると、会議に参加している他の全クライアントPC及びチェアマン端末に、個人情報を含む会議参加要求通知を送信する（ステップST251）。

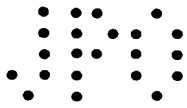
【0193】

また、クライアントコントロール部41は、会議参加要求を受信すると、参加者情報ファイルを参照して、チェアマン端末の存在を確認し（ステップST252）、チェアマン端末の存在を確認すると、チェアマン存在通知をクライアントPCに送信する（ステップST253）。

【0194】

チェアマン端末は、会議参加要求通知を受信すると（ステップST261）、図44（C6-2）に示すように、例えば、氏名が「Amy」のアイコン表示を追加した出席者アイコン表示画面61とする（ステップST262）。

【0195】



次に、チェアマン端末は、氏名「Amy」が操作するクライアントPCについて会議参加の許可をするときには、図44（C6-3）中の矢印で示すように、氏名が「Amy」についてのアイコン表示を選択し、次いで参加ボタン62を選択する操作がされることで、クライアントPCの参加許可通知を作成して、クライアントコントロール部41に送信する（ステップST263）。また、チェアマン端末は、クライアントPCの参加許可を与えたことに応じて、図44（C6-4）に示すように、氏名が「Amy」のアイコン表示を編みかけ表示から通常表示とする（ステップST264）。

【0196】

次に、クライアントコントロール部41は、会議参加許可通知を受信すると（ステップST254）、会議参加許可通知をチェアマン端末を含む全てのクライアントPCに送信する処理をする（ステップST255）。

【0197】

次に、会議参加要求をクライアントコントロール部41に送信したクライアントPCは、クライアントコントロール部41からの会議参加許可通知を受信すると（ステップST244）、図43（A6-3）中の矢印で示すように、クライアントPCのアイコン表示を通常表示とする。また、既に会議に参加している他のクライアントPCも、同様にクライアントPCのアイコン表示を通常表示とする。

【0198】

このような処理を行うことにより、ネットワーク会議システムでは、会議中であっても、新たにクライアントPCに参加させることができるとともに、他のクライアントPCに新たな参加者を認識させることができる。

【0199】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、会議を行っているときに議事録を作成するための議事録制御を行うときのチェアマン端末、クライアントコントロール部41及び資料送受信部46の処理手順について図45を参照して説明する。

【0200】

図45によれば、先ず、チェアマン端末は、図46（C7-1）内の矢印で示すように、議事録制御開始ボタン（Rec）119がチェアマンにより選択される操作がされることに応じて、プレゼンテーションファイル及びプレゼンテーションを行っているときに使用された資料データ、プレゼンテーション中の映像や音声を記録した議事録を作成する議事録制御モードを開始する議事録制御開始要求をクライアントコントロール部41に送信する（ステップST271）。

【0201】

次に、クライアントコントロール部41は、議事録制御開始要求を受け付けることで議事録制御モードとなり（ステップST281）、TV会議システムで得た第1の会議室10内の映像データ及び音声データのキャプチャを開始する（ステップST282）。また、クライアントコントロール部41は、議事録制御開始通知を資料送受信部46に出力する。

【0202】

次に、資料送受信部46は、クライアントコントロール部41から議事録制御開始通知を受信すると、議事録制御モードとなり（ステップST291）、データ記憶部45から読み出してプロジェクト装置15に送信しているプレゼンテーションデータの名称と、プレゼンテーションデータの提示時刻をデータ記憶部45の議事ログファイルに登録する処理に移行する（ステップST292）。

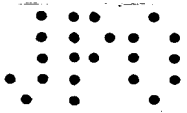
【0203】

プレゼンテーションを行っているときにおいて、チェアマン端末は、図46（C7-2）内の矢印で示すチェアマンメモ表示画面118にメモを書き込む操作がされると、メモデータをクライアントコントロール部41に送信する（ステップST272）。

【0204】

クライアントコントロール部41は、メモデータを受信すると、メモデータをデータ記憶部45に格納する処理をするとともに、メモデータを受信した時刻を議事ログファイルとして登録するように議事録制御部44を制御する（ステップST283）。

【0205】



また、チェアマン端末は、プレゼンテーションを行っているときにおいて、図 46 (C7-3) 内の矢印で示す議事録終了ボタン (Stop) 120 を選択する操作がされると、議事録終了要求をクライアントコントロール部 41 に送信する (ステップ S T 2 7 3)。

【0206】

クライアントコントロール部 41 は、議事録終了要求を受信すると (ステップ S T 2 8 4)、議事録制御モードを解除し、TV 会議システムで得ている映像データや音声データの取り込みを終了する処理をし (ステップ S T 2 8 5)、議事録終了通知を資料送受信部 46 に送信する。

【0207】

資料送受信部 46 では、議事録終了通知を受信すると (ステップ S T 2 9 3)、プレゼンテーションデータのデータ記憶部 45 への書き込みを終了する処理をする。

【0208】

このような処理を行うネットワーク会議システムでは、プレゼンテーションで提示した内容やその名称、TV 会議システムで得た映像や音声、メモデータを議事録ファイルとしてデータ記憶部 45 に格納するとともに、プレゼンテーションで資料を提示した時刻、メモデータを受信した時刻を議事ログファイルとしてデータ記憶部 45 に格納することができる。これにより、議事録制御部 44 は、図 8 に示したような議事ログファイルを作成することができる。

【0209】

また、このネットワーク会議システムでは、会議の途中でスキャナ装置 19 により読み込んだ内容、データ表示装置 16 や 3D 画像入力装置 17 で取り込んだ内容を議事録ファイルに含めても良く、会議の途中でスキャナ装置 19 により読み込んだ内容、データ表示装置 16 や 3D 画像入力装置 17 で取り込んだ内容を提示した時刻を議事ログファイルに含めても良いのは勿論である。

【0210】

つぎに、議事ログファイル、議事録ファイルを作成して議事録作成を開始するときのチェアマン端末、クライアントコントロール部 41、プレゼンター端末

の処理について図 47 を参照して説明する。

【0211】

図 47 によれば、先ず、チェアマン端末及びクライアントコントロール部 41 は、図 48 (P7-1) に示すように、プレゼンテーションファイルをドラッグしてプロジェクタ装置 15 においてドロップすることで、プレゼンテーションを行い (ステップ ST321)、プレゼンテーション上述のステップ ST271～ステップ ST285 で説明した処理と同様の処理 (ステップ ST301～ステップ ST315) を行って、議事録制御を終了する。このとき、プレゼンター端末は、図 48 (P7-2) 内で矢印で示すように、ユーザの操作により、アテンダントのタブが選択されてアテンダント端末に遷移した場合、又はビューア表示を閉じてプレゼンテーションを行うためのアプリケーションを終了した場合にアテンダント端末となる。プレゼンター端末は、自身がアテンダント端末となったことを示す情報をクライアントコントロール部 41 に送信する (ステップ ST322)。

【0212】

ステップ ST316 において、クライアントコントロール部 41 は、データ記憶部 45 に格納された議事録ファイルに含まれるプレゼンテーションデータ、映像データ、音声データ、及びメモデータを用いて、議事ログファイルを参照して議事録データを作成する処理をする。

【0213】

このようなネットワーク会議システムでは、プレゼンター端末がプレゼンテーションを終了した場合に、プレゼンテーション内容、キャプチャした映像データ、音声データ、メモデータ、各種機器で提示した内容を用いて議事録データを作成することができる。

【0214】

つぎに、ネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーション中に TV 会議制御をするときのチェアマン端末、クライアントコントロール部 41、TV 会議システムの処理について図 49 を参照して説明する。

【0215】

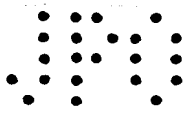


図 49 によれば、先ず、チェアマン端末は、図 50 中の矢印で示すように、TV 会議システムのアイコン表示を選択する操作がされることで、TV 会議動作を開始する（ステップ ST 331）。

【0216】

次に、チェアマン端末は、TV 会議を開始するに際して TV 会議システム同士の接続処理を選択し（ステップ ST 332）、接続先として第 2 の会議室 30 内の TV 会議システム 35 を選択し（ステップ ST 333）、第 1 の会議室 10 内の TV 会議システムと TV 会議システム 35 とを接続することを要求する接続要求をクライアントコントロール部 41 に送信する。

【0217】

次に、クライアントコントロール部 41 は、チェアマン端末からの接続要求を受信すると、第 1 の会議室 10 内の TV 会議システム及び TV 会議システム 35 に接続要求を送信することで、TV 会議接続処理をする（ステップ ST 341）。

【0218】

これに応じ、第 1 の会議室 10 内の TV 会議システム及び TV 会議システム 35 は、クライアントコントロール部 41 からの接続要求に映像データ及び音声データを送受信するように接続処理をして、接続完了通知をクライアントコントロール部 41、チェアマン端末に出力する（ステップ ST 351）。

【0219】

そして、チェアマン端末は、図 36 中の矢印で示すように TV 会議システムを選択して切断する処理をすることで、切断要求をクライアントコントロール部 41 に出力する（ステップ ST 334）。

【0220】

次に、クライアントコントロール部 41 は、第 1 の会議室 10 内の TV 会議システム及び TV 会議システム 35 に切断要求を出力する（ステップ ST 342）。

【0221】

次に、第 1 の会議室 10 内の TV 会議システム及び TV 会議システム 35 は、

切断処理をして、切断処理が完了したら、切断完了通知をクライアントコントロール部 41、チェアマン端末に出力する（ステップ S T 3 5 2）。

【0222】

これにより、ネットワーク会議システムでは、チェアマン端末の制御により、TV会議の設定、開始、切断を制御することができる。

【0223】

なお、上述の実施の形態では、会議サーバ 11が存在し、各種制御を会議サーバ 11によって実行する一例について説明したが、会議サーバ 11の有する各種機能をクライアント PCに持たせても良い。すなわち、会議への参加者が操作するクライアント PCと会議サーバ 11とを同一のハードウェアで実現しても良い。これにより、会議サーバ 11の機能を有するクライアント PCは、内部の記録媒体に記憶しているデータを無線通信装置 13を介して直接プロジェクタ装置 15やデータ表示装置 16に伝送することができる。

【0224】

【発明の効果】

本発明に係るネットワーク会議システム及び参加認証方法によれば、チェアマン端末により、会議参加要求に応じて参加用級をする参加用電子機器を操作するユーザに関する個人情報をチェアマンに提示して、参加認証をすることができる。

【0225】

本発明に係る会議管理サーバ及び参加認証方法は、会議に参加する参加用電子機器に対応する個人情報を含む参加情報ファイルを作成し、参加機器表示情報を作成して、会議に参加している参加用電子機器の状態を管理することにより、参加用電子機器の参加認証を管理して、参加認証を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用したネットワーク会議システムの概略図である。

【図2】

本発明を適用したネットワーク会議システムの構成図である。

【図 3】

クライアント PC のソフトウェア環境について説明するための図である。

【図 4】

出席者アイコン表示画面を説明するための図である。

【図 5】

使用可能機器表示画面について説明するための図である。

【図 6】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、会議サーバのソフトウェア環境について説明するための図である。

【図 7】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第 1 の会議室内の会議サーバの構成を示すブロック図である。

【図 8】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録制御部で作成する議事ログファイルの構成を説明するための図である。

【図 9】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録作成部で議事録データを作成する処理を説明するための図である。

【図 10】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録データを表示するときの表示画面の一例を示す図である。

【図 11】

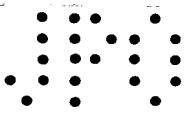
本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第 1 の会議室に存在するクライアント PC の表示画面を示す図である。

【図 12】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第 1 の会議室に存在するチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 13】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第 1 の会議室に存在す



るプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 14】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第1の会議室に存在するアテンダント端末の表示画面を示す図である。

【図 15】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第2の会議室に存在するクライアントPCの表示画面を示す図である。

【図 16】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第2の会議室に存在するチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 17】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第2の会議室に存在するプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 18】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、第2の会議室に存在するアテンダント端末の表示画面を示す図である。

【図 19】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、会議の参加／退出を行うときのアテンダント端末及びプレゼンター端末、クライアントコントロール部、チェアマン端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 20】

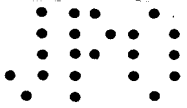
本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、会議の参加／退出を行うときのアテンダント端末及びプレゼンター端末、クライアントコントロール部、チェアマン端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 21】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、会議の参加／退出を行うときのアテンダント端末の表示画面を示す図である。

【図 22】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、会議の参加／退出を行



うときのプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 2 3】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、会議の参加／退出を行うときのチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 2 4】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、資料提示を行うときのプレゼンター端末、クライアントコントロール部、アテンダント端末及びチェアマン端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 2 5】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、資料提示を行うときのアテンダント端末、プレゼンター端末及びチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 2 6】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、資料提示を行うときのプレゼンター端末、クライアントコントロール部及び資料送受信部の処理手順を示すフローチャートである。

【図 2 7】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、資料提示を行うときのプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 2 8】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーションを行うときのプレゼンター端末、クライアントコントロール部、アテンダント端末及びチェアマン端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 2 9】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーションを行うときのアテンダント端末の表示画面を示す図である。

【図 3 0】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーションを行うときのプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 3 1】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーションを行うときのチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 3 2】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーションを行うときのプレゼンテータ端末、クライアントコントロール部及び資料送受信部の処理手順を示すフローチャートである。

【図 3 3】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、プレゼンテーションを行うときのプレゼンテータ端末の表示画面を示す図である。

【図 3 4】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、チャットを行うときのアテンダント端末、クライアントコントロール部及びチェアマン端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 3 5】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、チャットを行うときのアテンダント端末及びチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 3 6】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、チャットを行うときのアテンダント端末及びチェアマン端末の他の表示画面を示す図である。

【図 3 7】

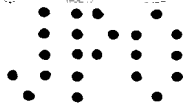
本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、ファイルを行うときの、第1のクライアントPCクライアントコントロール部及び第2のクライアントPCの処理手順を示すフローチャートである。

【図 3 8】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、ファイル転送を行うときのアテンダント端末の表示画面を示す図である。

【図 3 9】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、ファイル転送を行うと



きのアテンダント端末及びチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 4 0】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、機器管理、ユーザ認証を行うときのチェアマン端末、クライアントコントロール部及び機器管理部の処理手順を示すフローチャートである。

【図 4 1】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、機器管理、ユーザ認証をしたときのチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 4 2】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、ユーザ認証を行うときのアテンダント端末、クライアントコントロール部及びチェアマン端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 4 3】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、ユーザ認証を行うときのアテンダント端末及びプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 4 4】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、ユーザ認証を行うときのチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 4 5】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録制御をするときのチェアマン端末、クライアントコントロール部及び資料送受信部の処理手順を示すフローチャートである。

【図 4 6】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録制御、議事録作成をするときのチェアマン端末の表示画面を示す図である。

【図 4 7】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録を作成開始するときのチェアマン端末、クライアントコントロール部 4 1 及びプレゼンター端末の処理手順を示すフローチャートである。

【図 48】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、議事録制御、議事録作成をするときのプレゼンター端末の表示画面を示す図である。

【図 49】

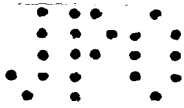
本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、TV会議制御をするときのチェアマン端末、クライアントコントロール部、TV会議システムの処理手順を示すフローチャートである。

【図 50】

本発明を適用したネットワーク会議システムにおいて、チェアマン端末によりTV会議制御をするときの表示画面を示す図である。

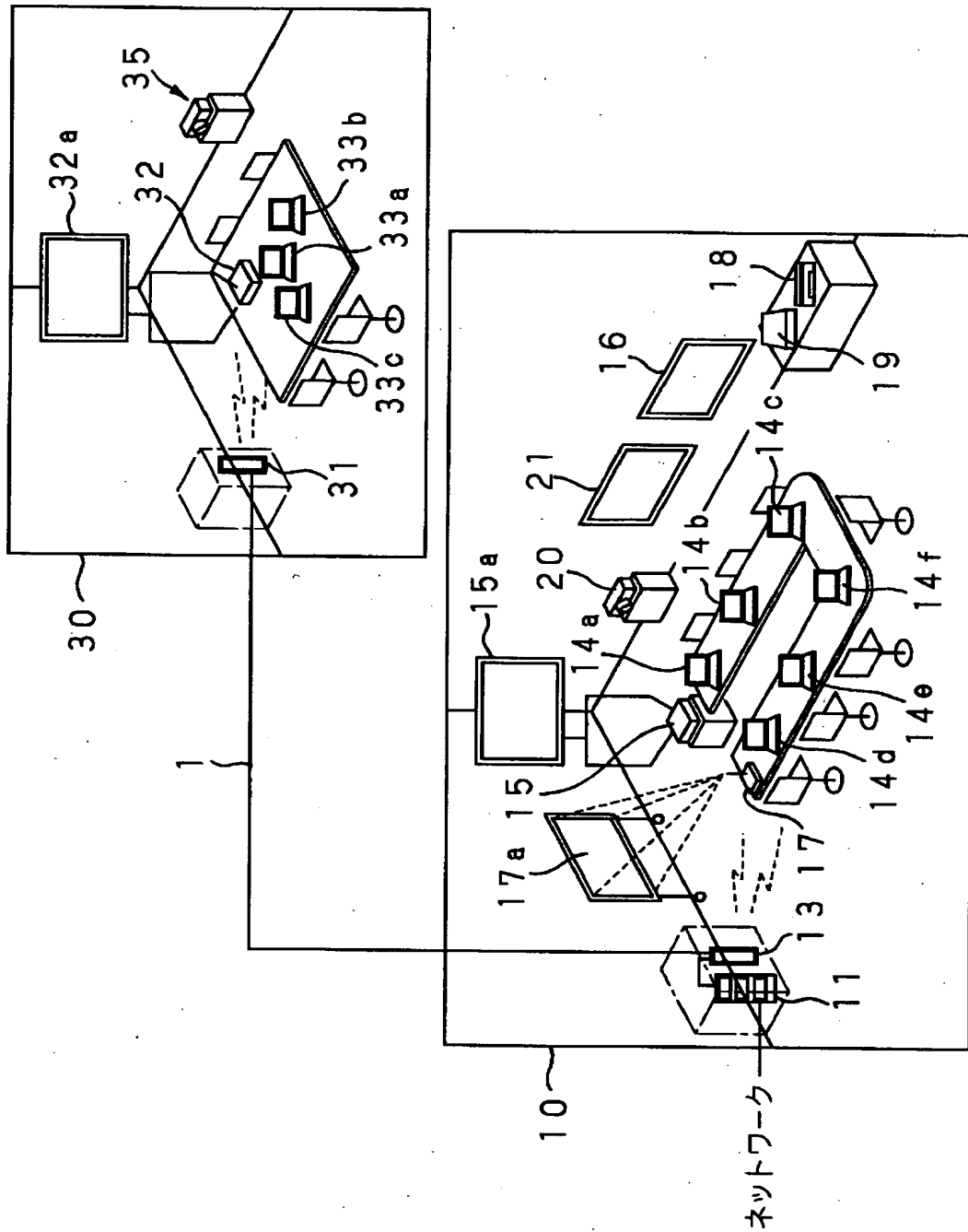
【符号の説明】

1 通信ネットワーク、10 第1の会議室、11 会議サーバ、13 無線通信装置13、14 クライアントPC、15 プロジェクタ装置、15a 表示スクリーン、16 データ表示装置、17 3D画像入力装置、17a ホワイトボード、18 プリンタ装置、19 スキャナ装置、30 第2の会議室、31 無線通信装置、32 携帯型プロジェクタ装置、33 クライアントPC、35 TV会議システム、41 クライアントコントロール部、42 参加者情報記憶部、43 共有ファイル記憶部、44 議事録制御部、45 データ記憶部、46 資料送受信部、47 機器管理部、48 機器情報ファイル記憶部、49 議事録作成部、50 議事録データ記憶部、61 出席者アイコン表示画面、62 参加ボタン、63 使用可能機器表示画面、96 プレビュー表示画面、97 ファイルセレクト表示画面、98 ビューア表示

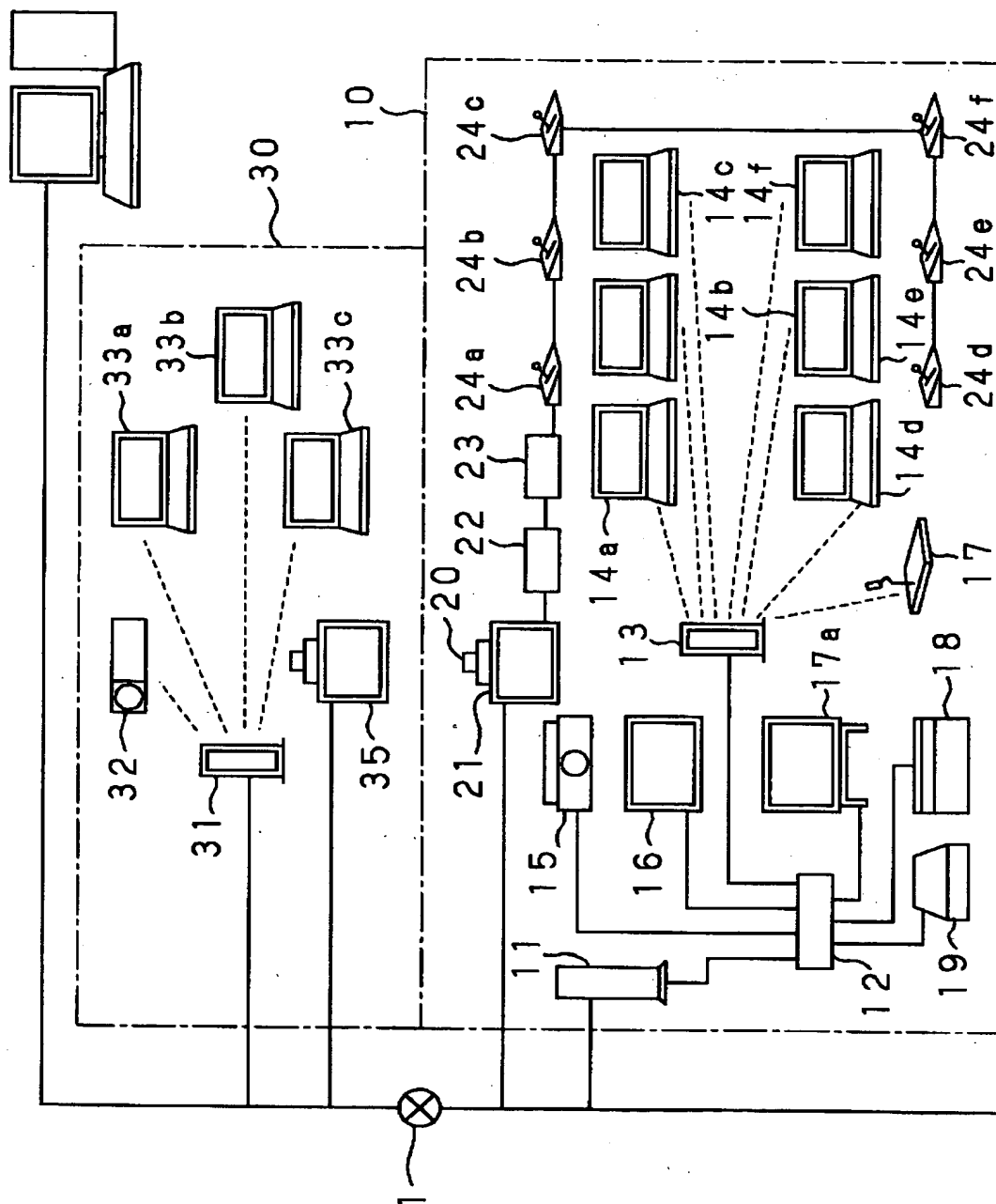


【書類名】 図面

【図 1】

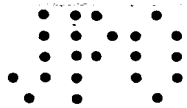


【図 2】

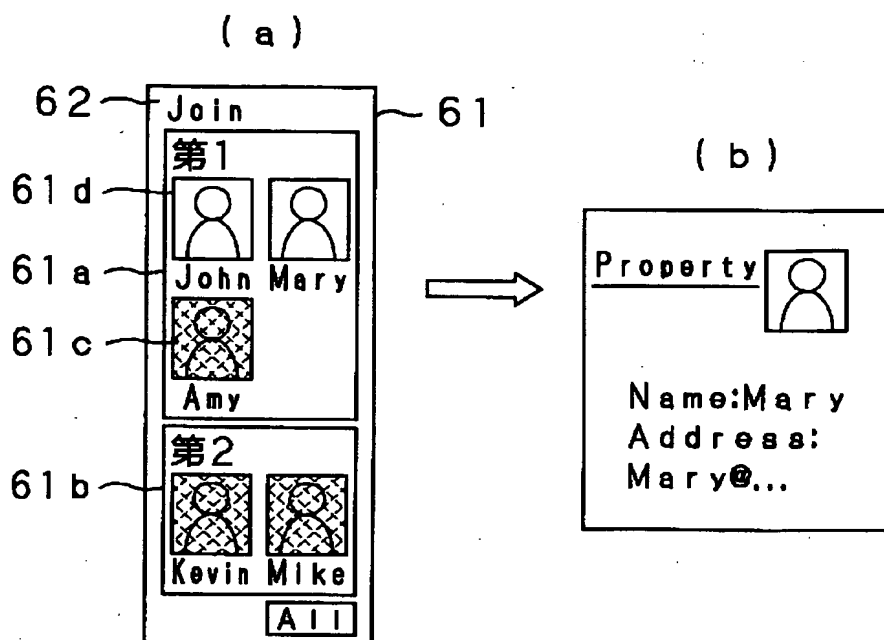


【図 3】

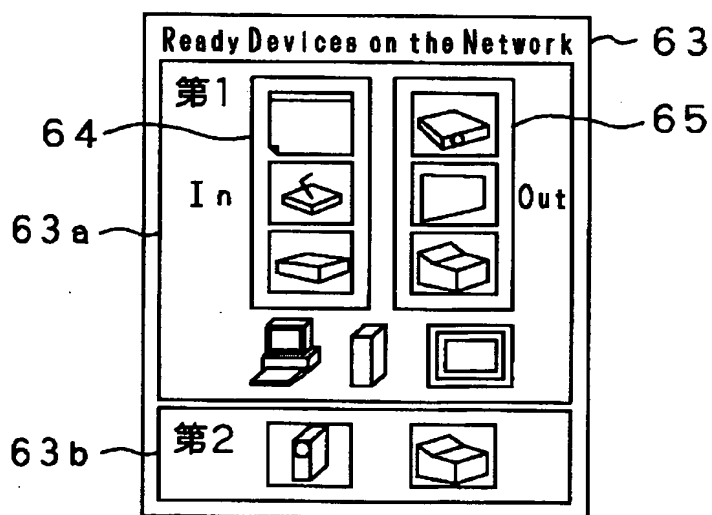
GUIプログラム				
チェアマンのみ有効				
プレゼンテーション	チャット	ファイル転送	TV会議制御	議事録制御
ユーザ認証 機器管理				
Ethernet(ネットワークプロトコル)				
IEEE802.11b(無線通信プロトコル)				
基本ソフト				



【図 4】



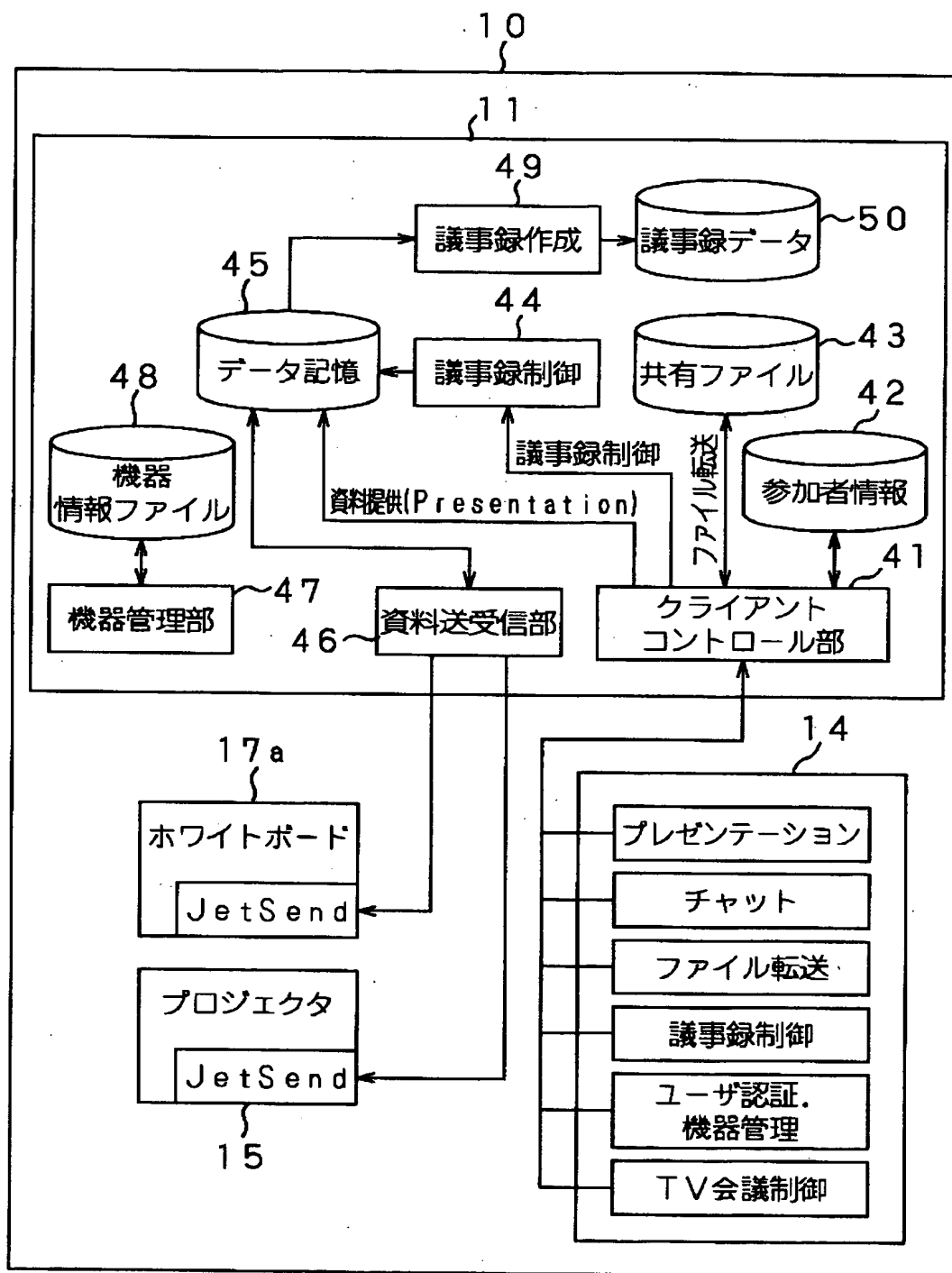
【図 5】



【図 6】

議事録作成	機器認識	資料送受信	議事録制御	クライアント コントロール
基本ソフト				
ビデオ キャプチャ インターフェイス	ネットワークインターフェイス			

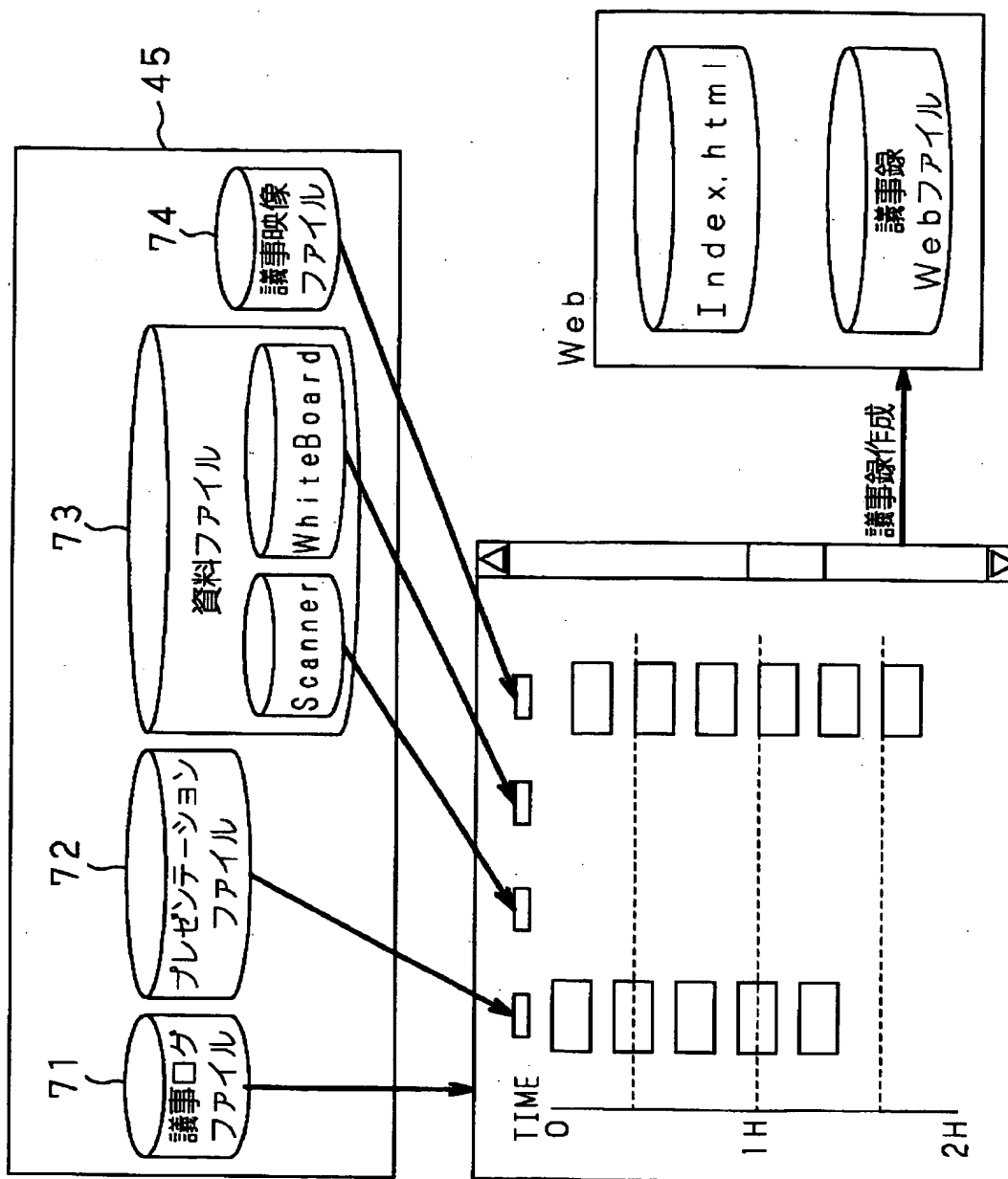
【図 7】



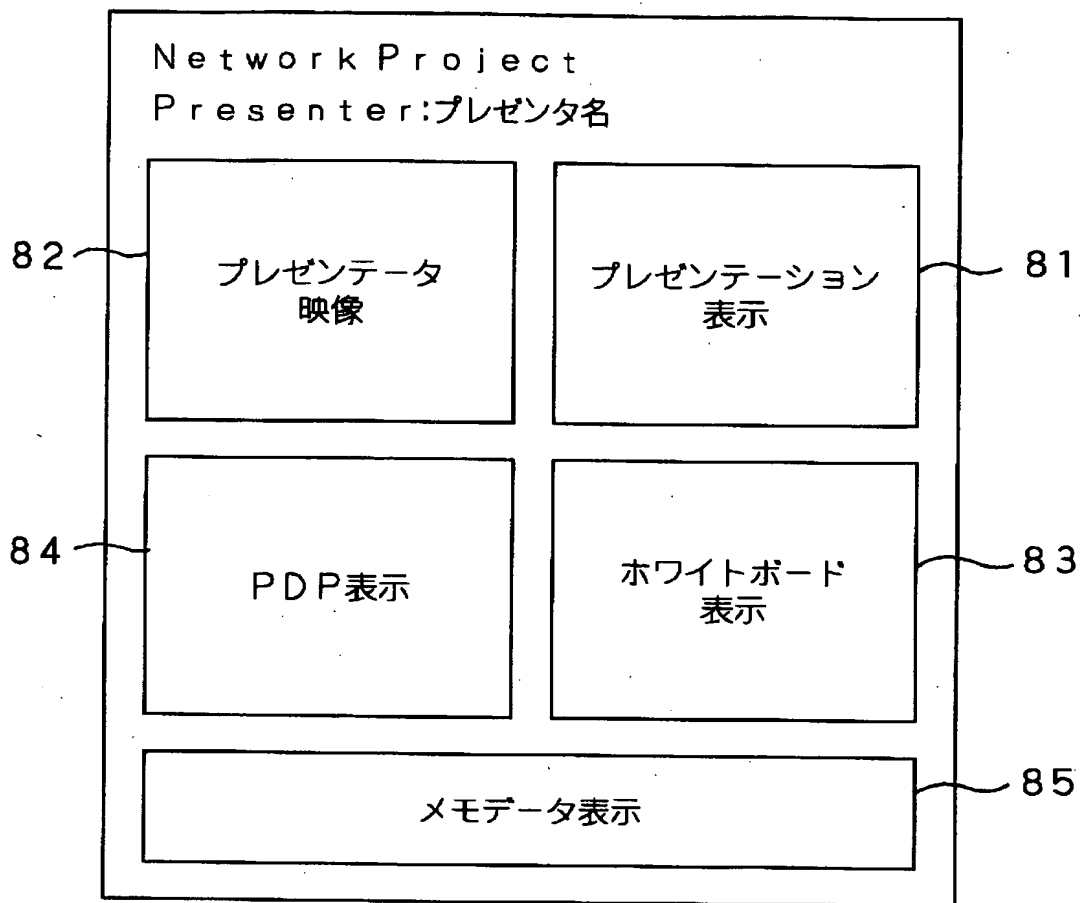
【図8】

タイプ	意味	内容
01	議題	議題
02	日付	YYYY/MM/DD
03	場所	会議室名
04	Chairman	Chairman名
05	Presenter	Presenter名
06	Attendant	Attendant名
10	キャプチャ出力	ファイル名
11	プロシエクタ出力	出力ファイル名(デバイスへの出力)
12	・・・出力	出力ファイル名
15	・・・入力	入力ファイル名(デバイスからの入力)
16	・・・入力	入力ファイル名
20	メモ	メモの内容
99	プレゼンテーション終了	なし

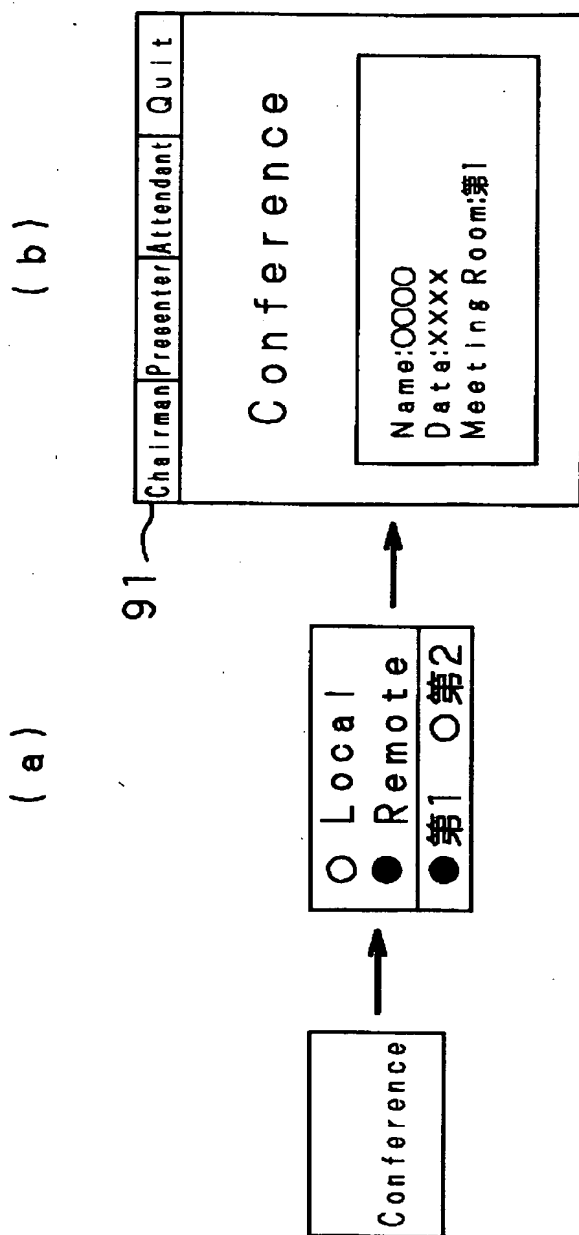
【図 9】



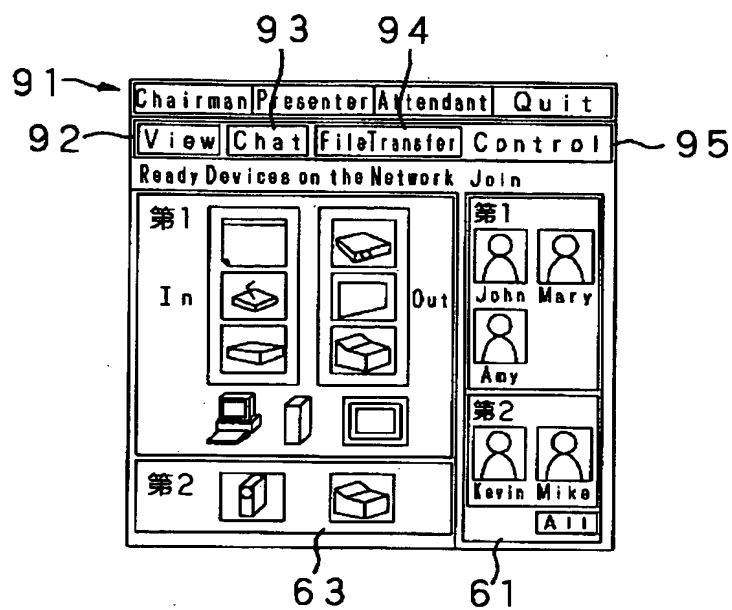
【図10】



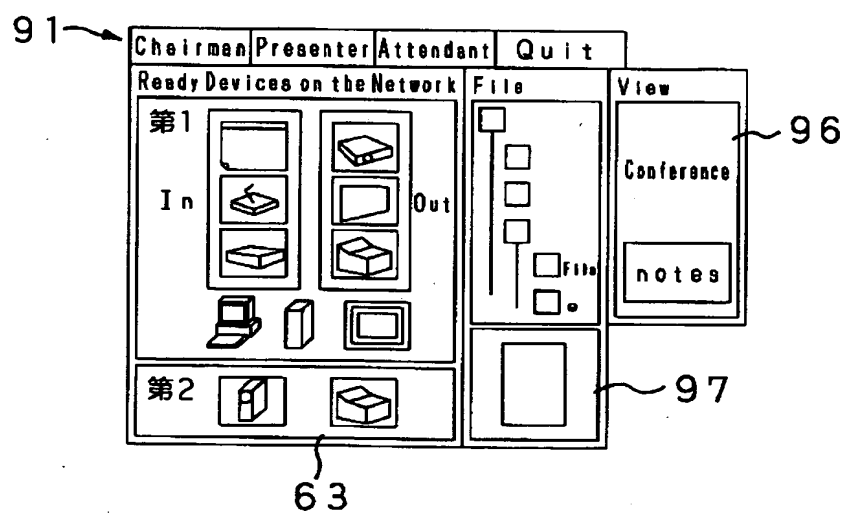
【図 11】

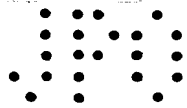


【図 12】

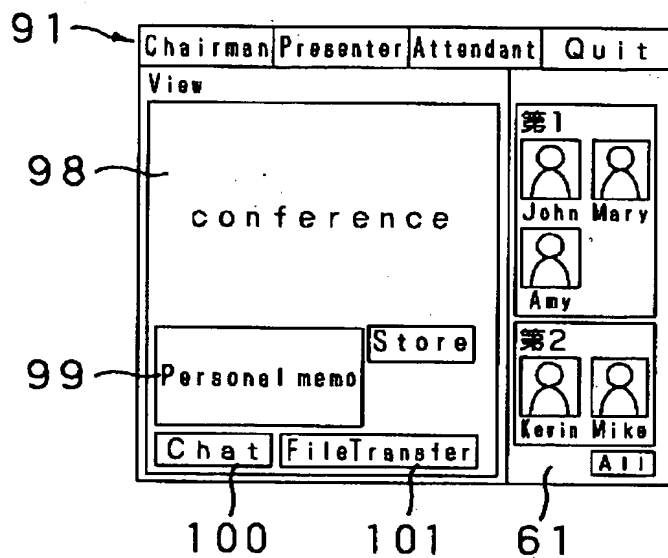


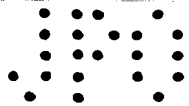
【図 13】



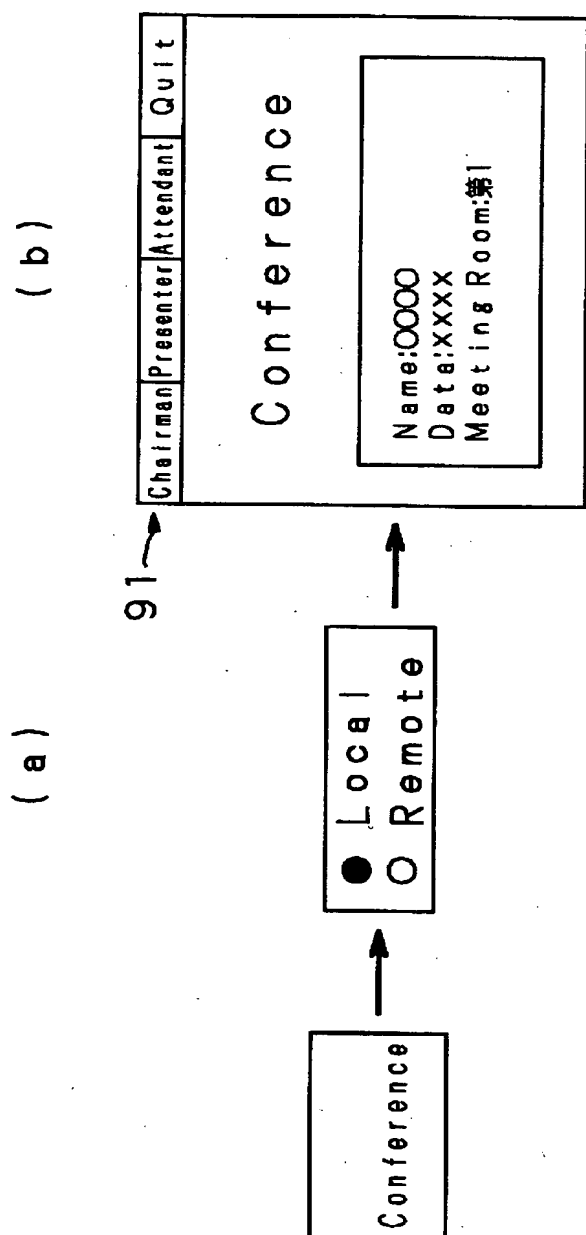


【図 14】

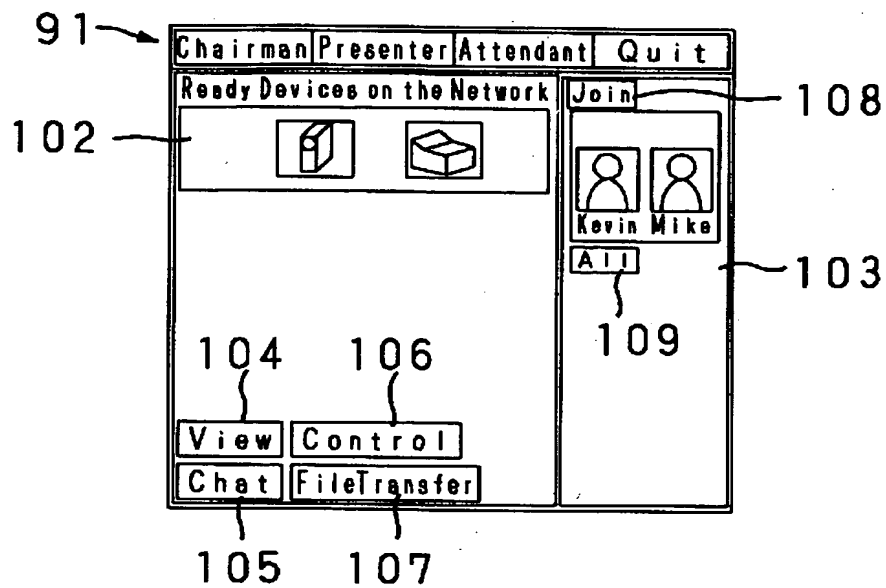




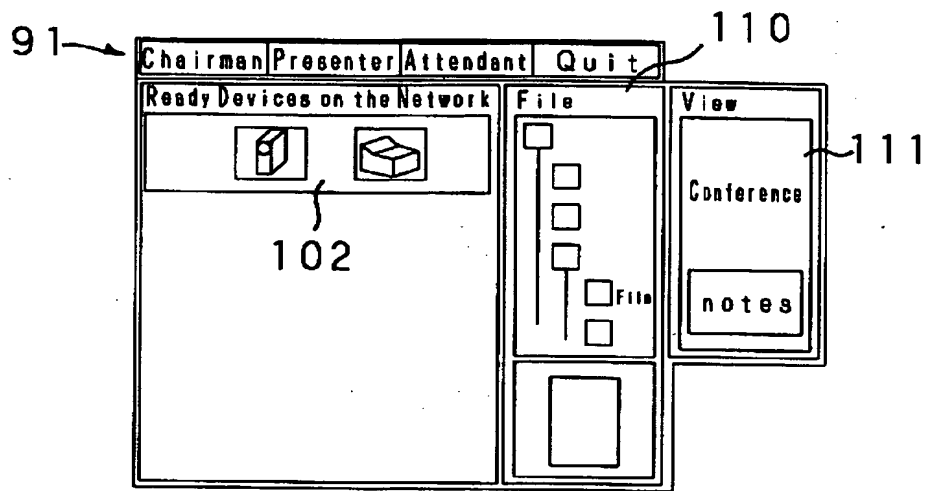
【図15】



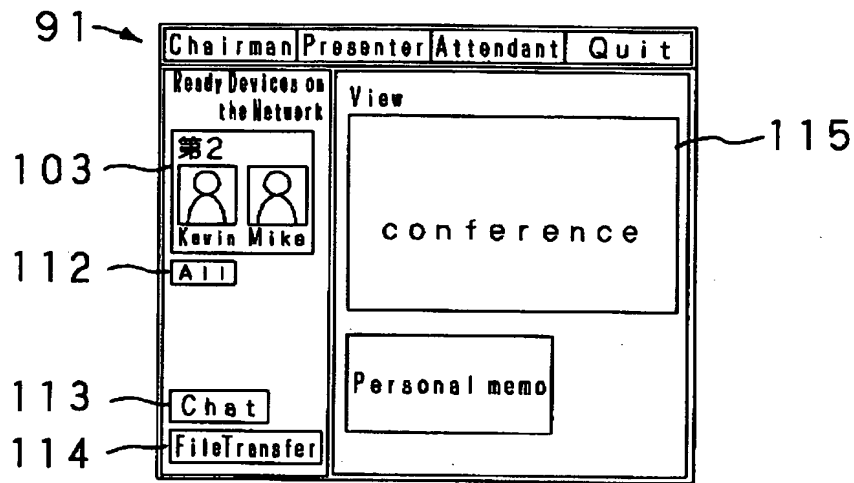
【図 16】



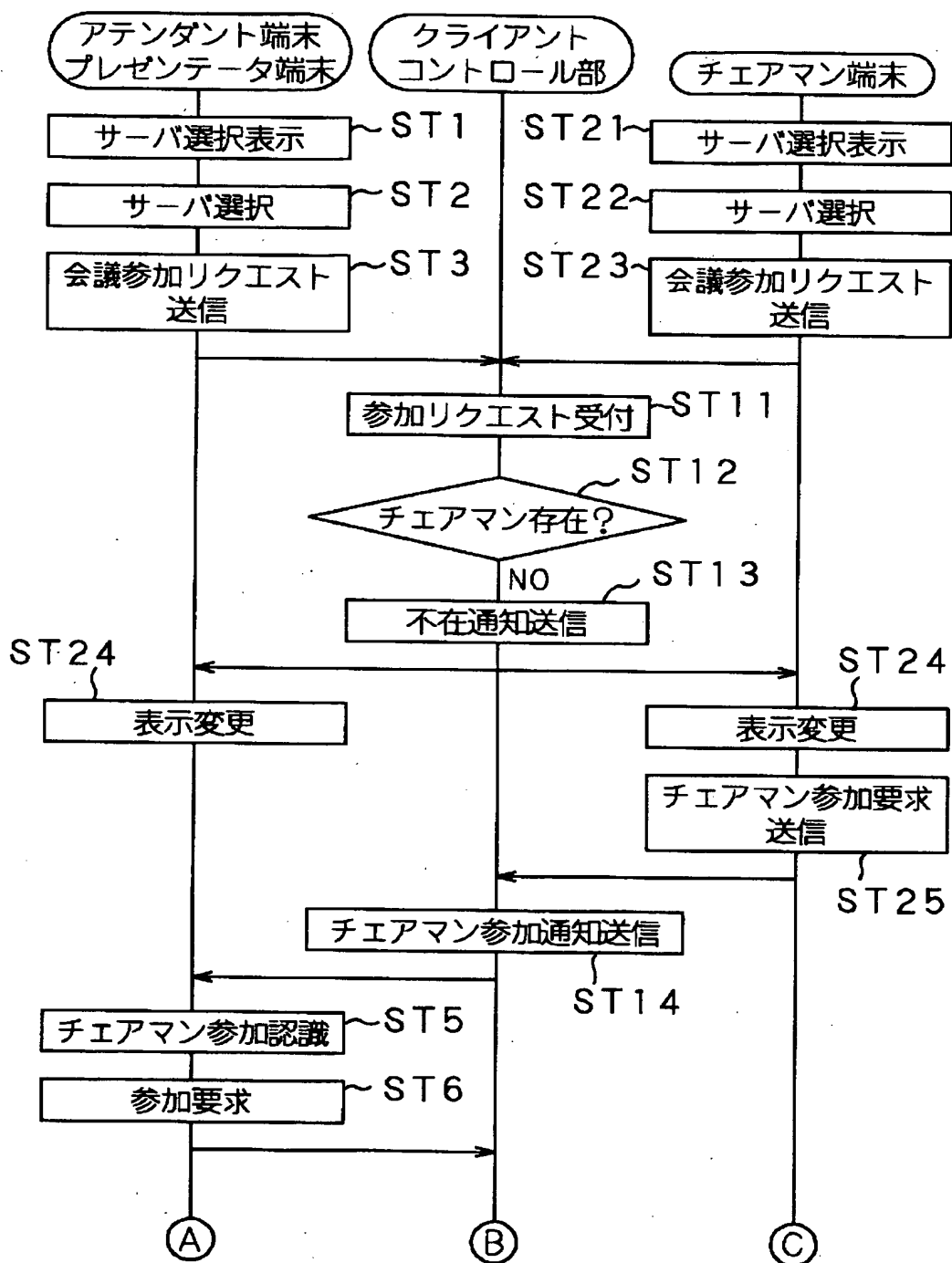
【図 17】

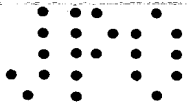


【図18】

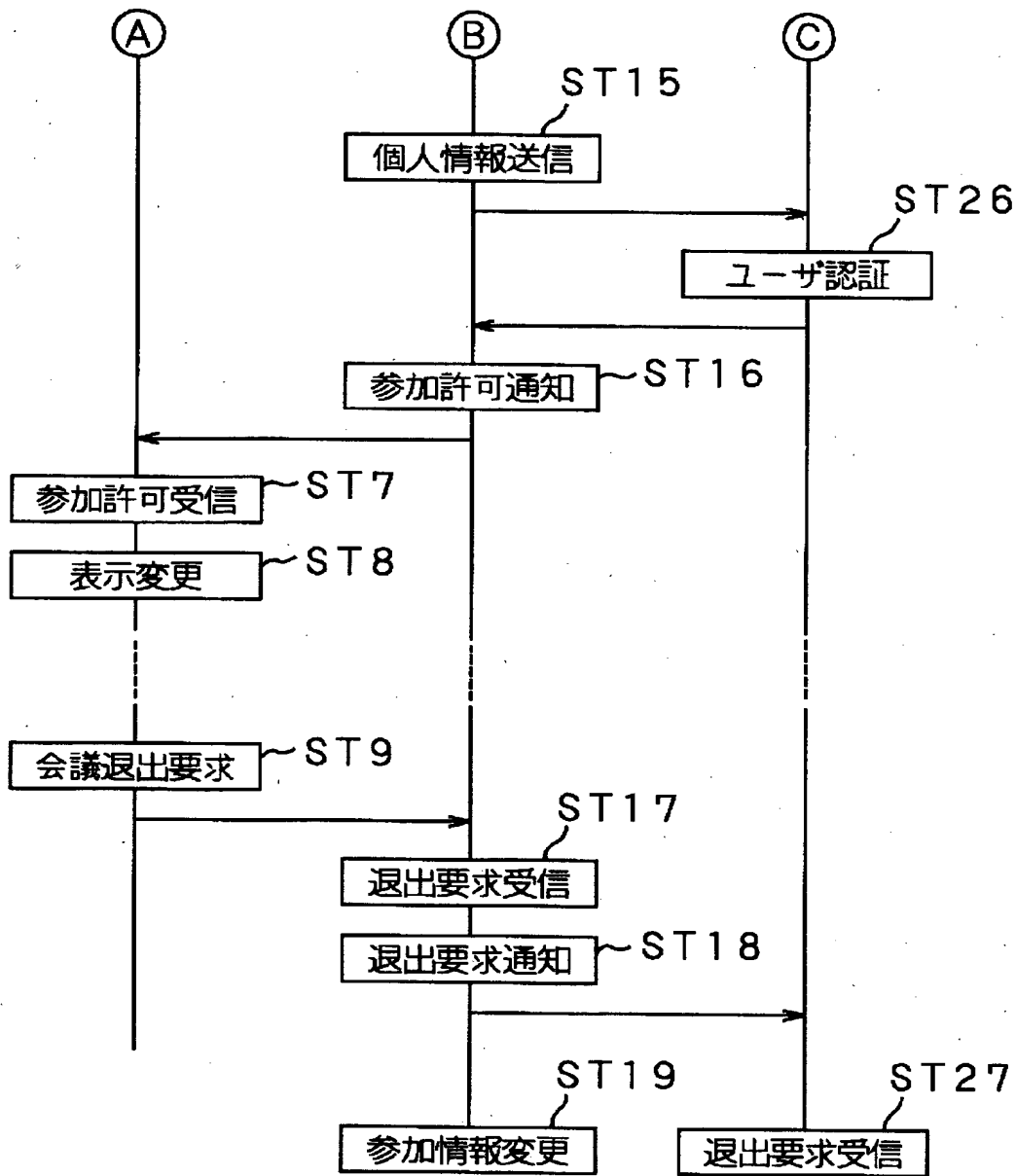


【図 19】





【図 20】



【図 21】

(A1-1)

<input type="radio"/> Local
<input checked="" type="radio"/> Remote
<input checked="" type="radio"/> 第1 <input type="radio"/> 第2

(A1-2)

Chairman Presenter Attendant Quit

Conference

Name: OOOO
Data: XXXX
Meeting Room: 第1

(A1-3)

Chairman Presenter Attendant Quit

View

conference

Store

Chat Filetransfer

第1

John Mary

第2

Kevin Mike

(A1-4)

Chairman Presenter Attendant Quit

View

conference

Store

Chat Filetransfer

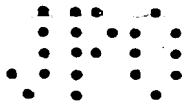
第1

John Mary

第2

Kevin Mike

Attendant

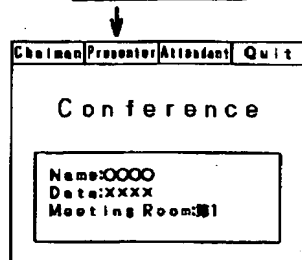


【図 22】

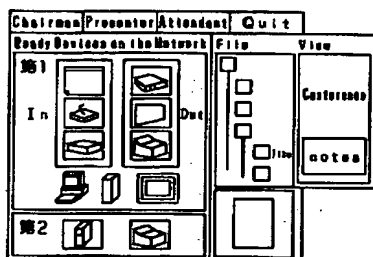
(P1-1)



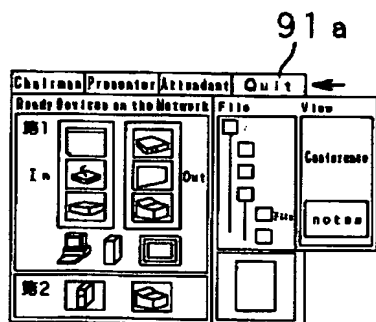
(P1-2)



(P1-3)



(P1-4)



Presenter

【図 23】

(C1-1)

<input type="radio"/> Local
<input type="radio"/> Remote
● 第1 <input type="radio"/> 第2

(C1-2)

Chairman	Presenter	Attendant	Quit
e-Conference			
Name:0000 Data:XXXX Meeting Room:第1			

(C1-3)

Chairman	Presenter	Attendant	Quit
View	Chat	Filetransfer	Control
Ready Devices on the Network			
第1	In	Out	第1
			John Mary
			Amy
第2			第2
			Kevin Mike
			All

63

61 a

61

(C1-4)

Chairman	Presenter	Attendant	Quit
View	Chat	Filetransfer	Control
Ready Devices on the Network			
第1	In	Out	第1
			John Mary
			Amy
第2			第2
			Kevin Mike
			All

63

61 a

61

(C1-5)

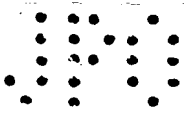
Chairman	Presenter	Attendant	Quit
View	Chat	Filetransfer	Control
Ready Devices on the Network			
第1	In	Out	第1
			John Mary
			Amy
第2			第2
			Kevin Mike
			All

63

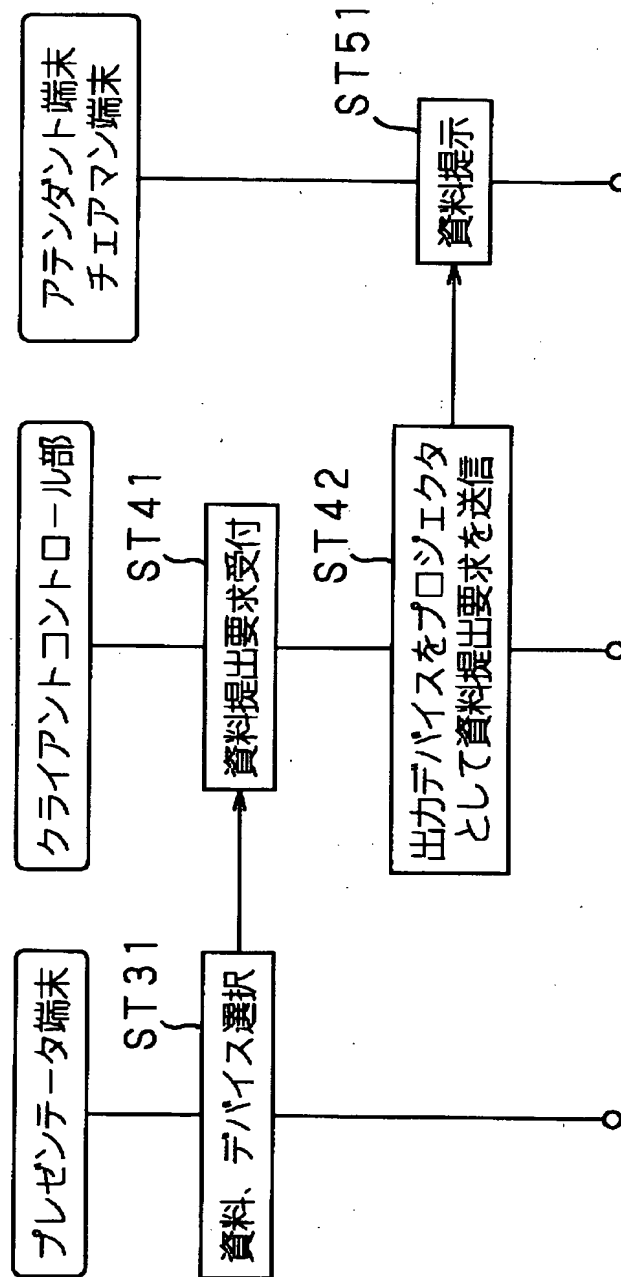
61 a

61

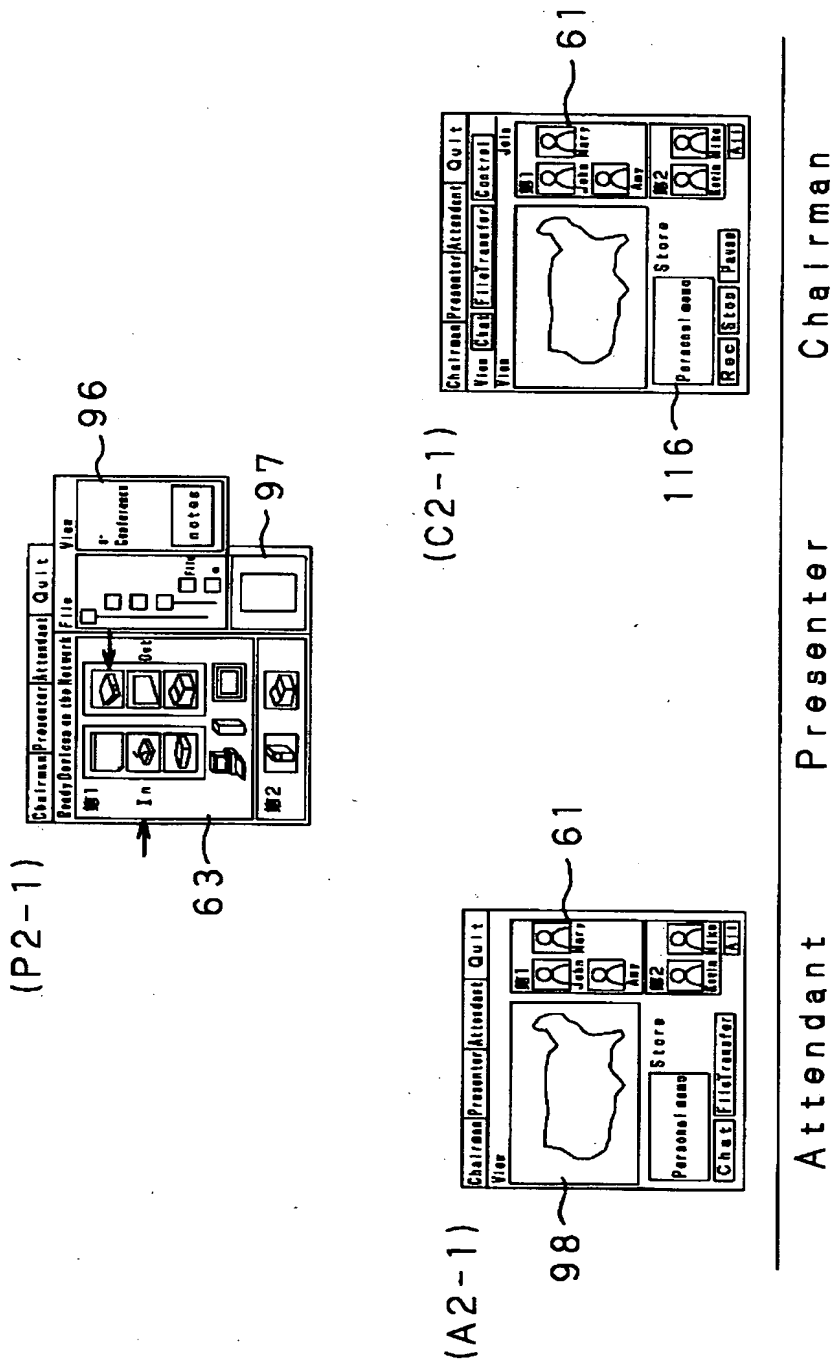
Chairman

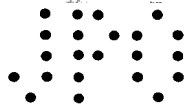


【図24】

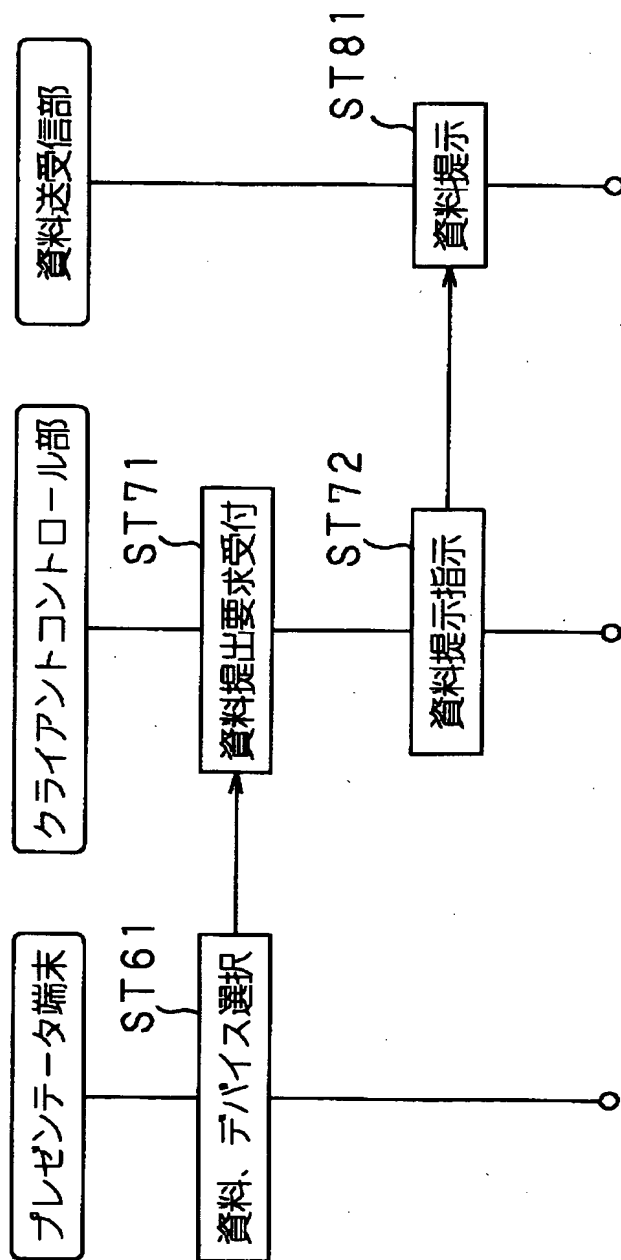


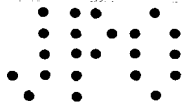
【図 25】



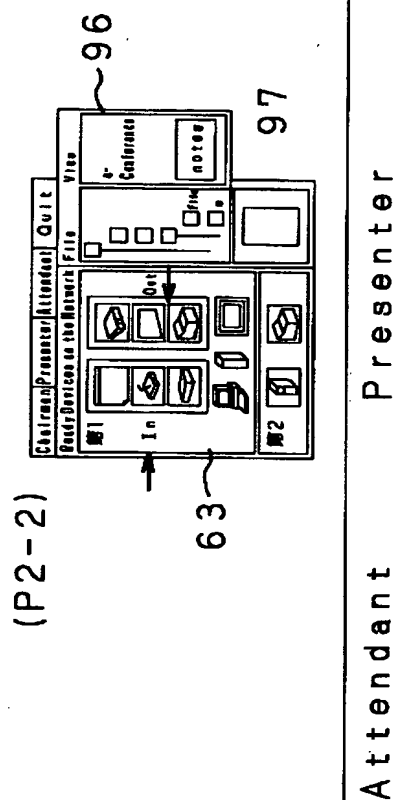


【図 26】

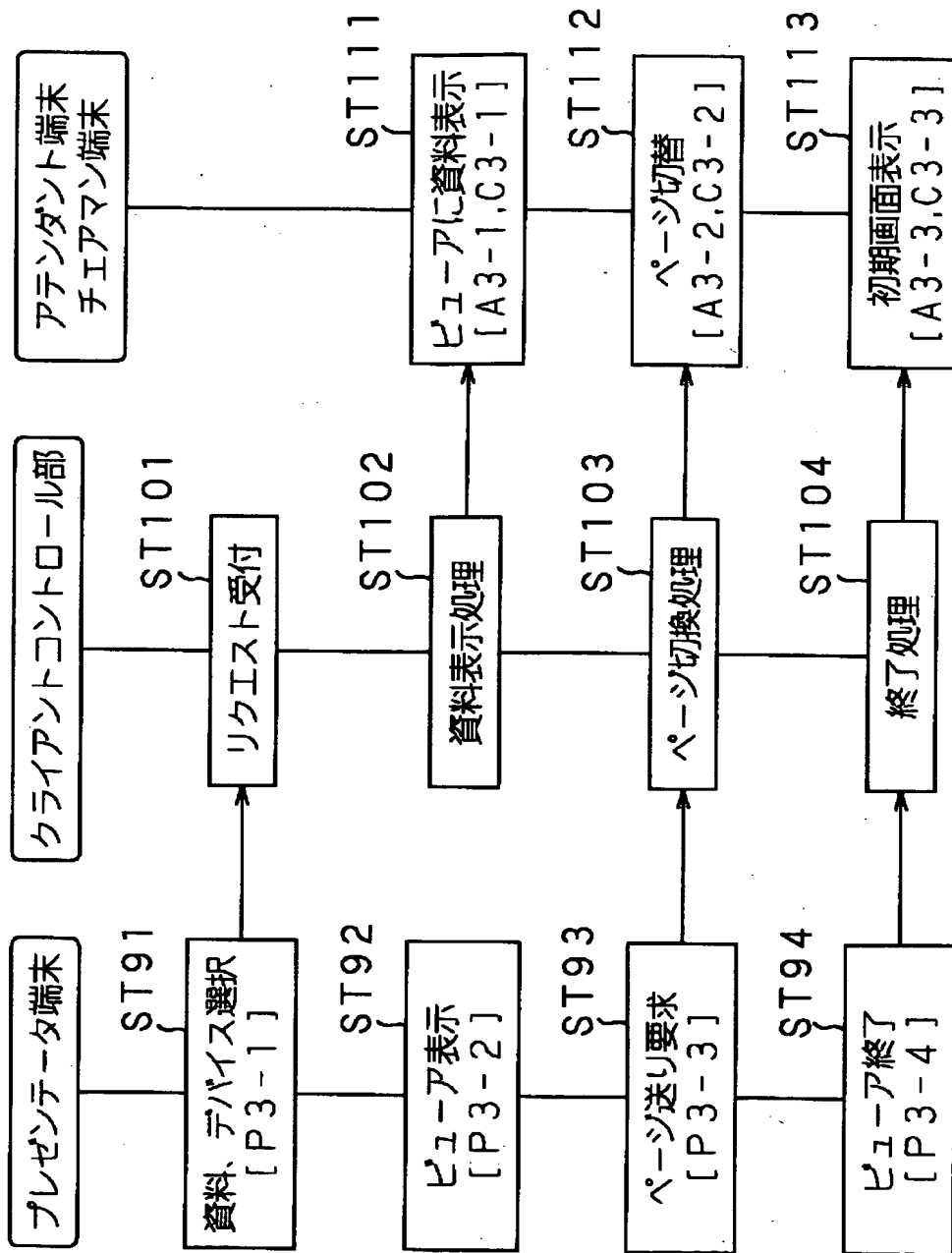


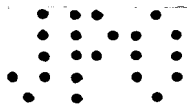


【図 27】



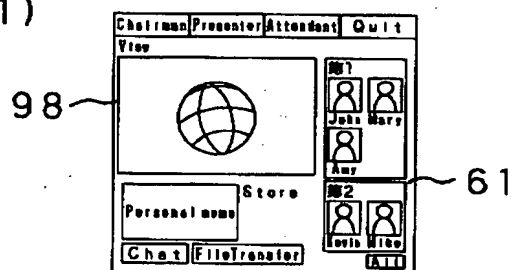
【図 28】



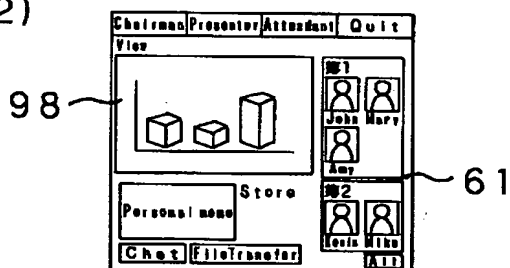


【図 29】

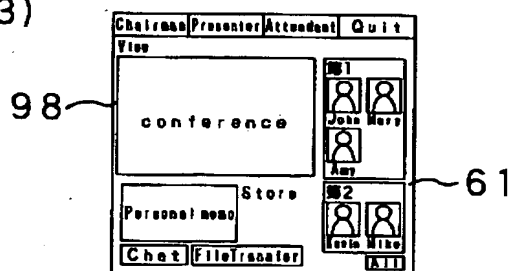
(A3-1)



(A3-2)

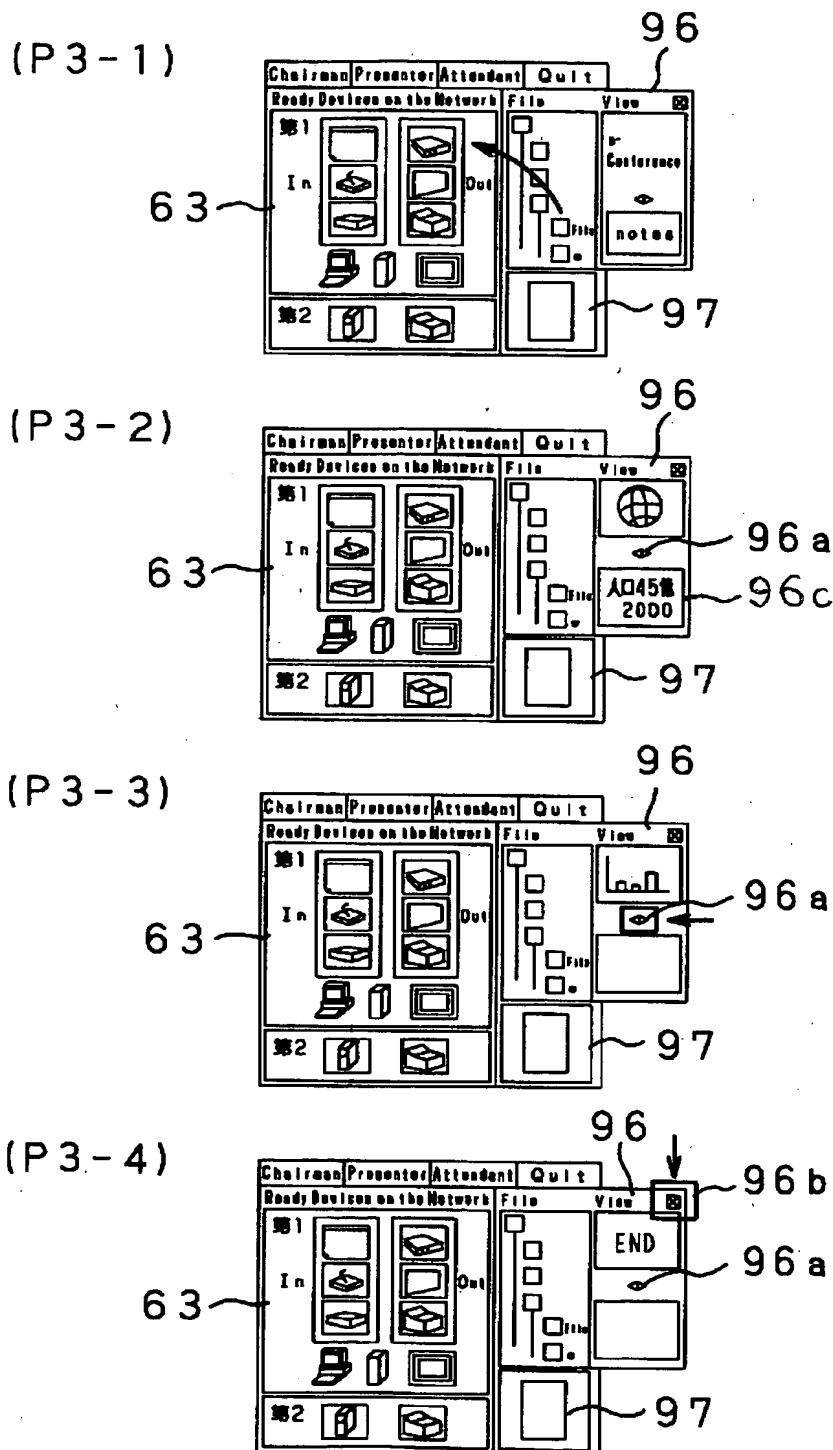


(A3-3)



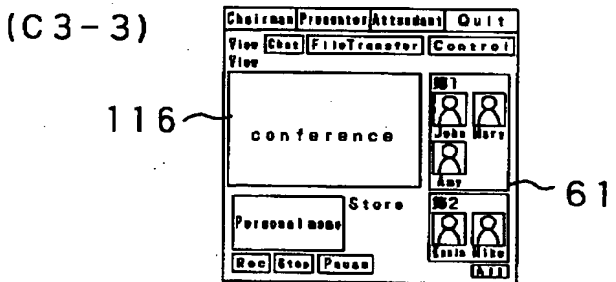
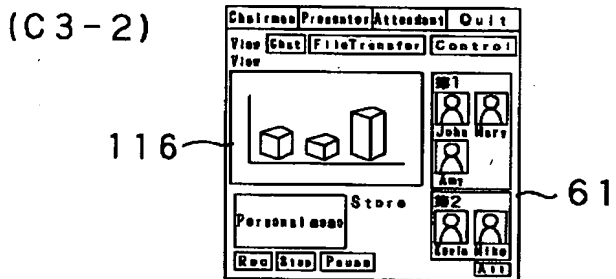
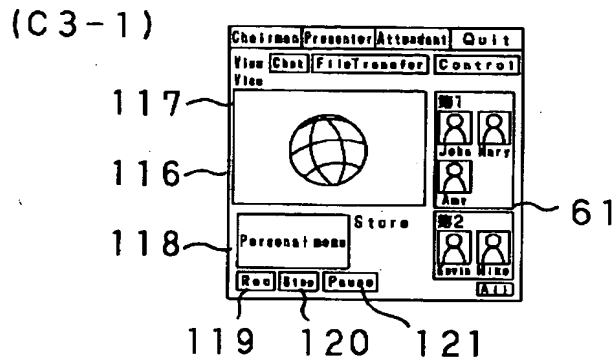
Attendant

【図 30】



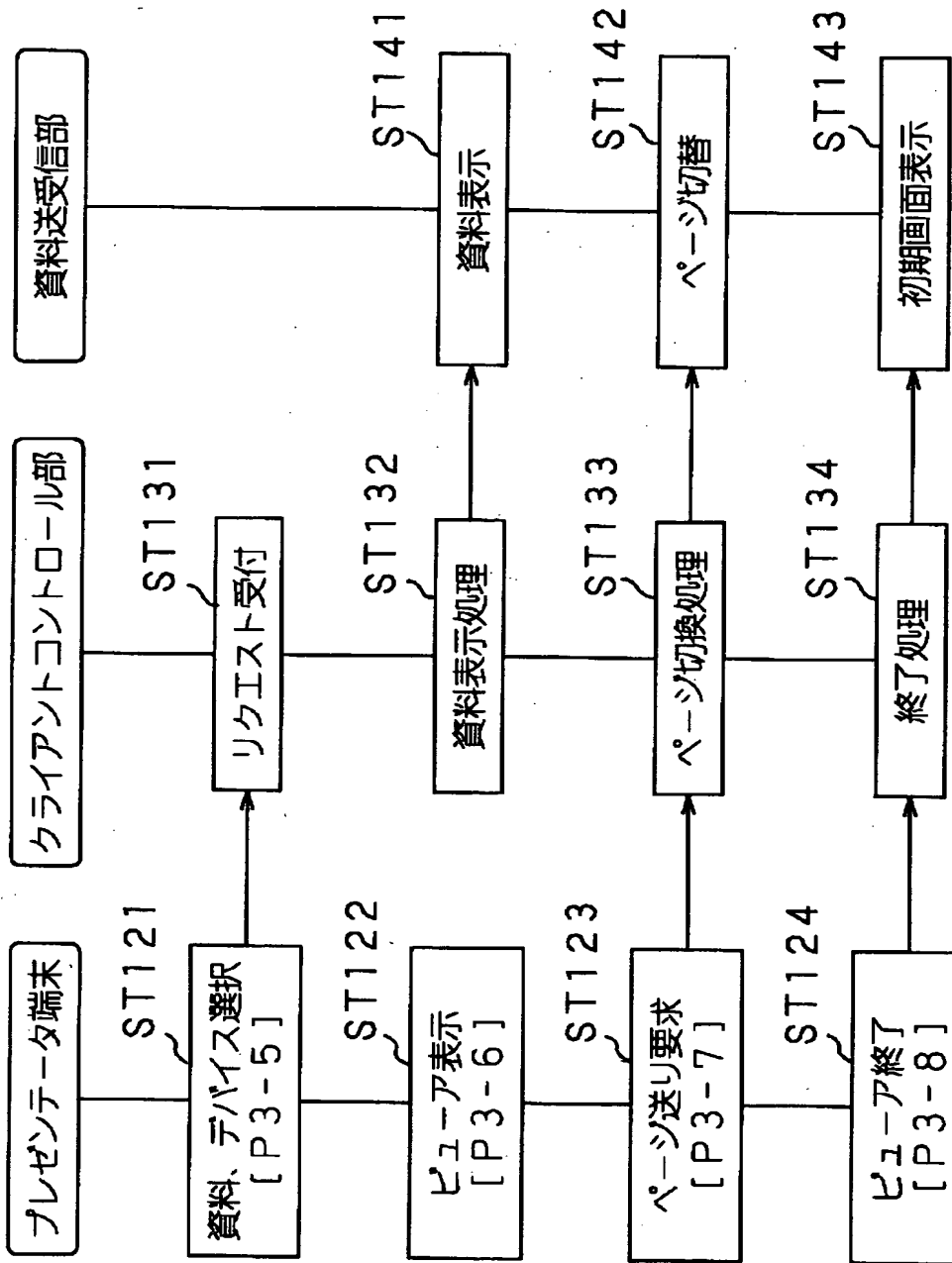
Presenter

【図 31】

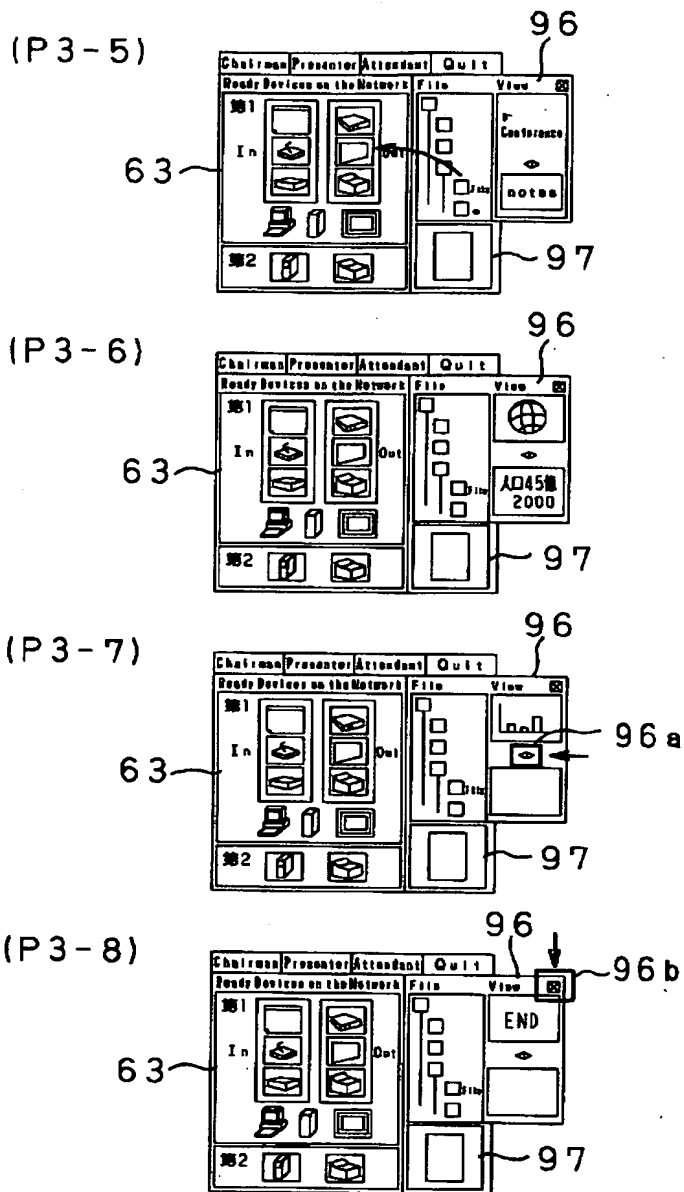


Attendant

【図32】

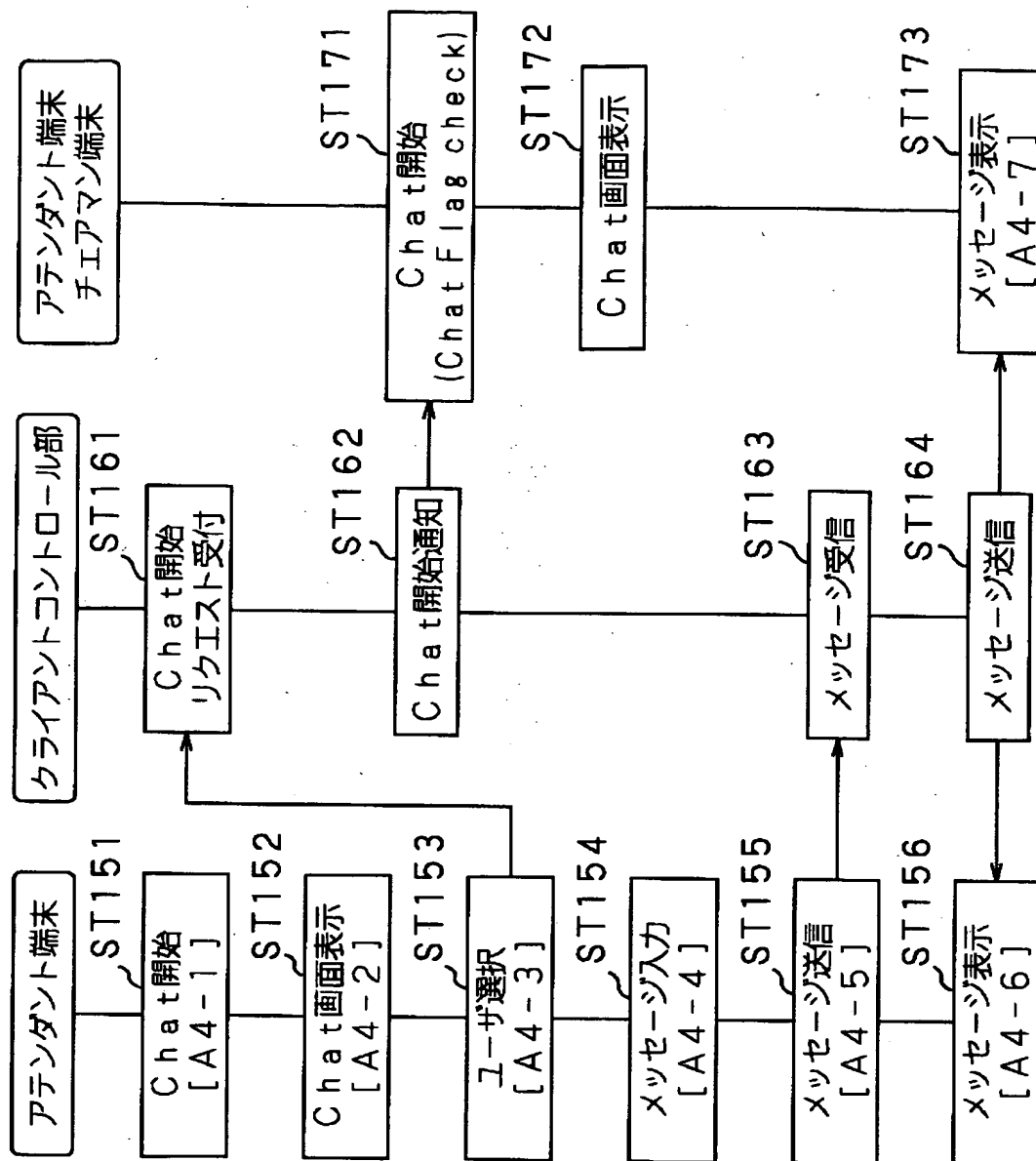


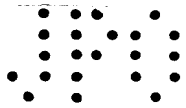
【図 33】



Presenter

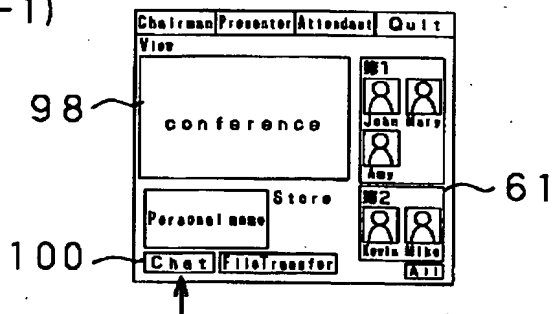
【図 34】



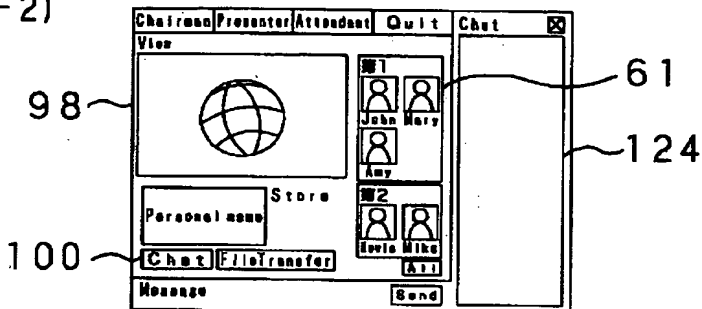


【図 35】

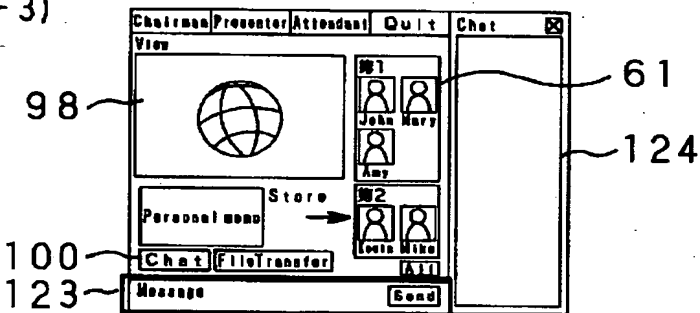
(A4-1)



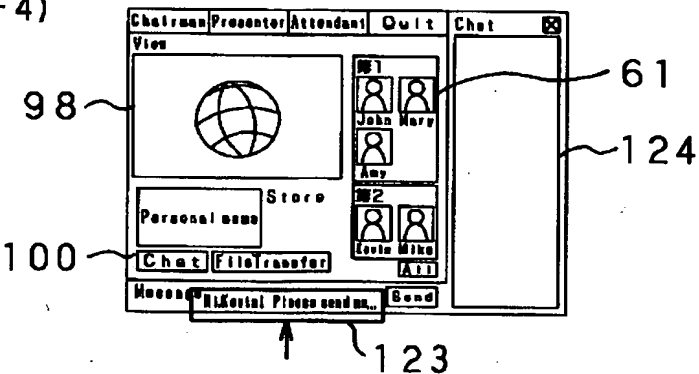
(A4-2)



(A4-3)

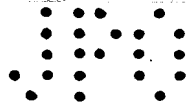


(A4-4)

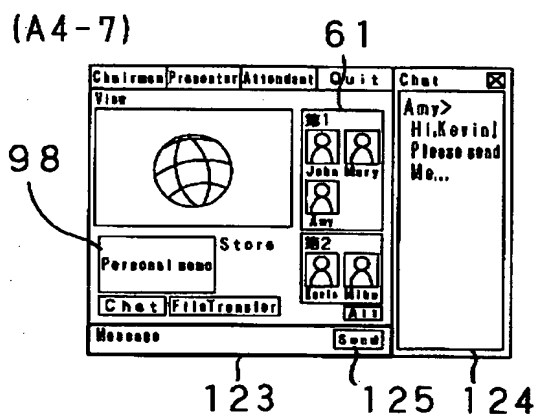
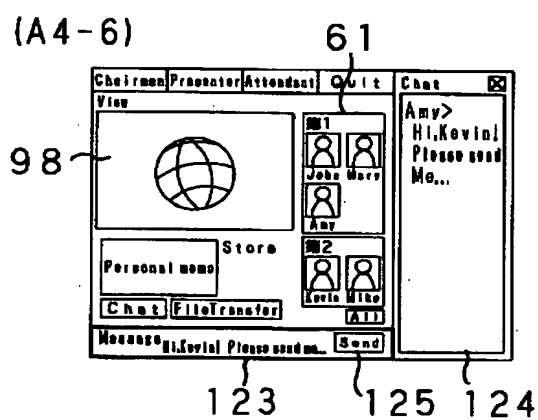
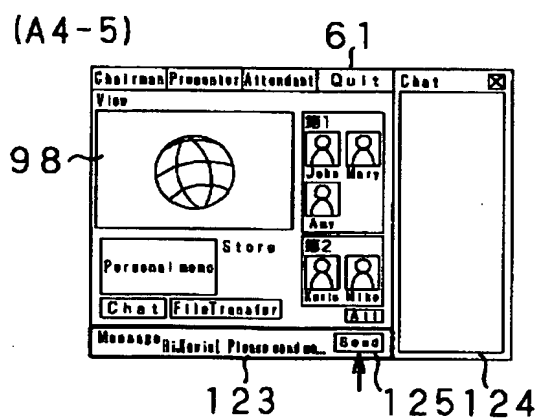


Attendant

Chairman
Attendant



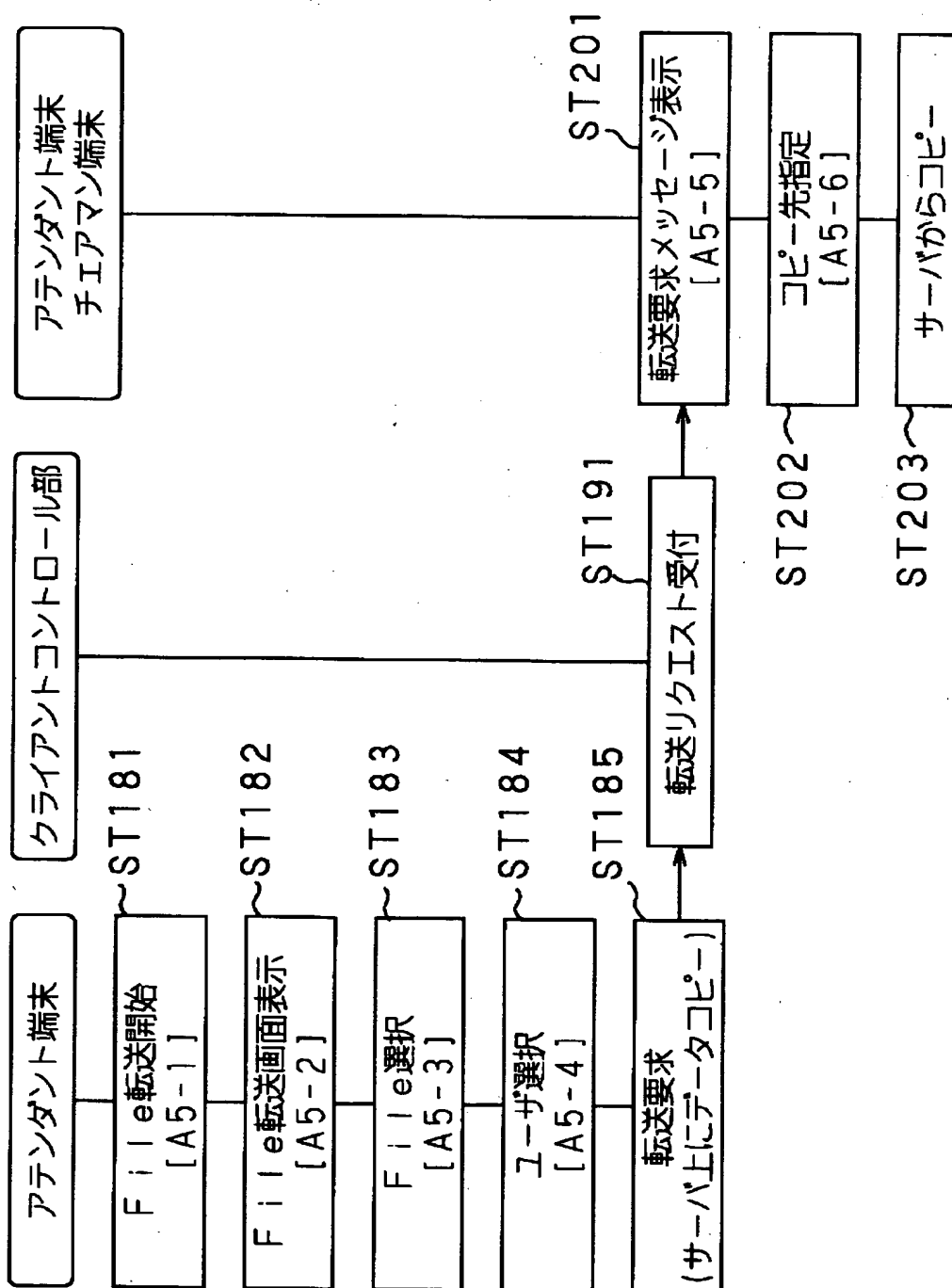
【図 36】



Attendant

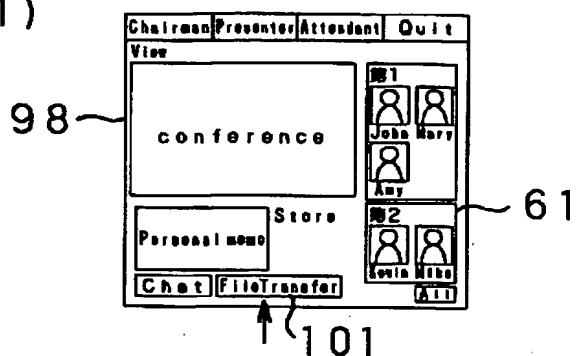
Chairman
Attendant

【図 37】

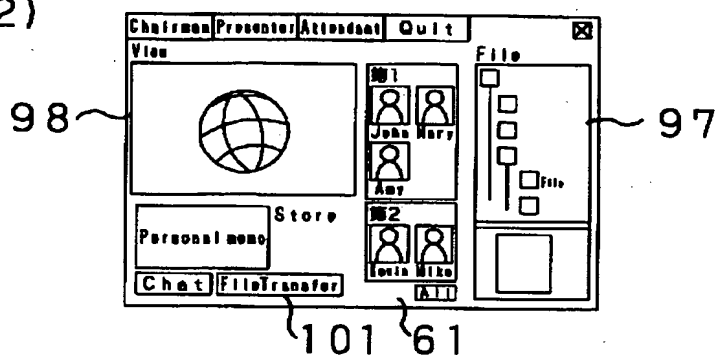


【図 38】

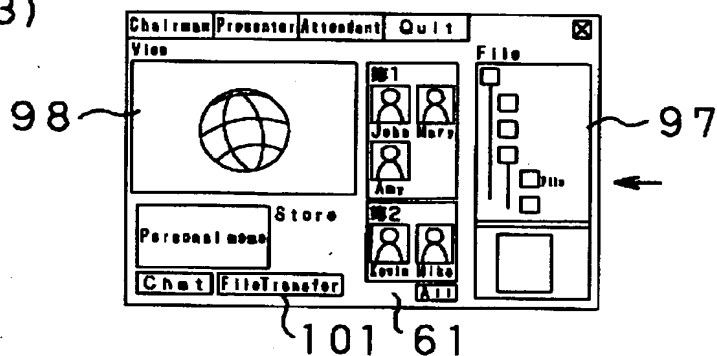
(A5-1)



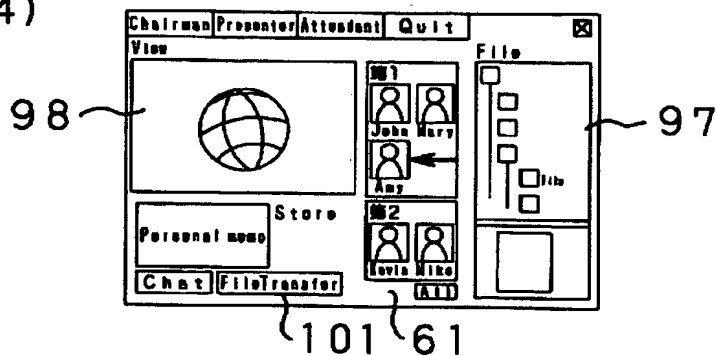
(A5-2)



(A5-3)



(A5-4)



Attendant

【図 39】

(A5-5)

Kevinさんからファイルが
転送されました
保管しますか?
Yes No

(A5-6)

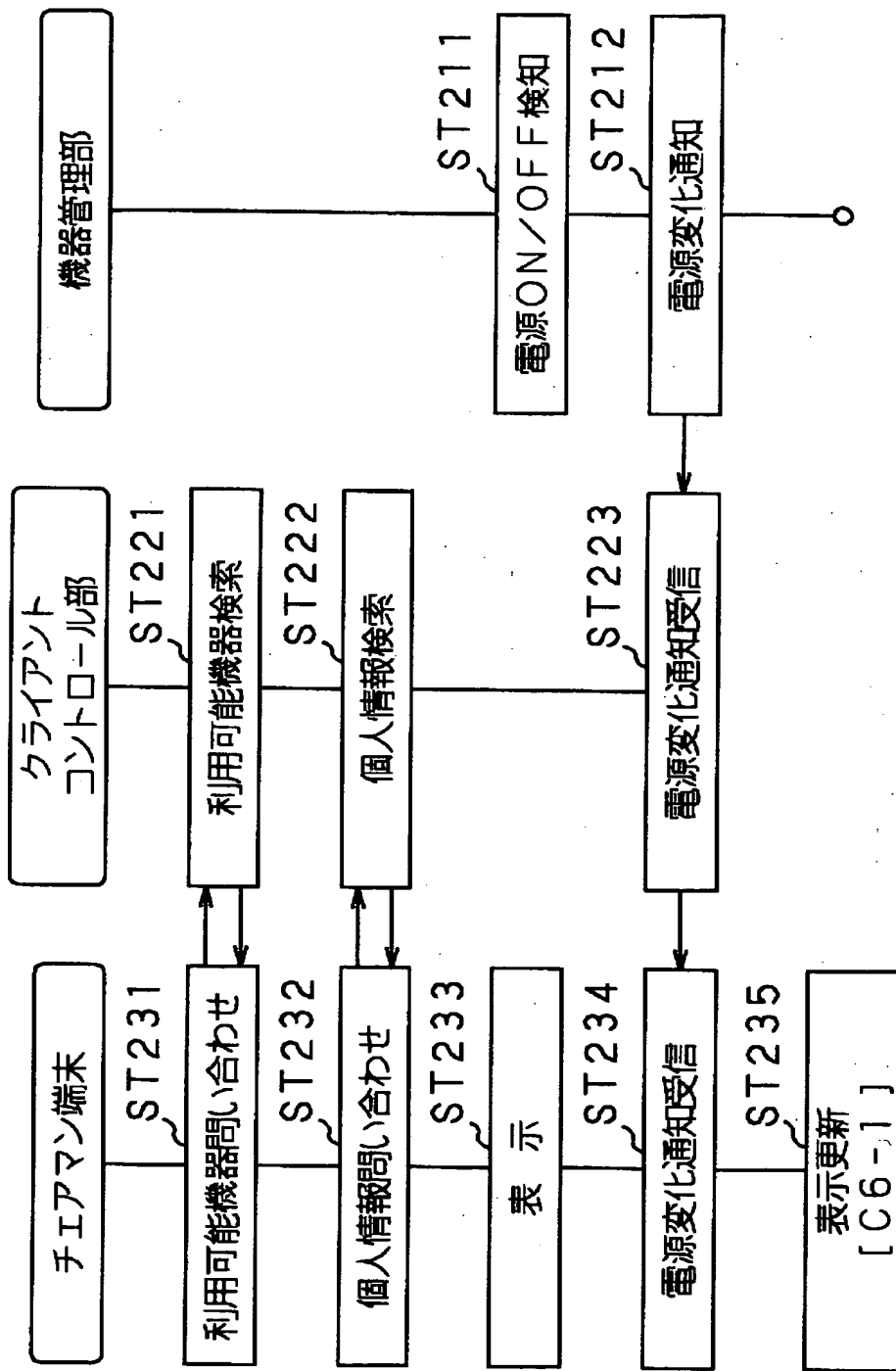
名前を付けて保存

ファイル名

ファイルの種類

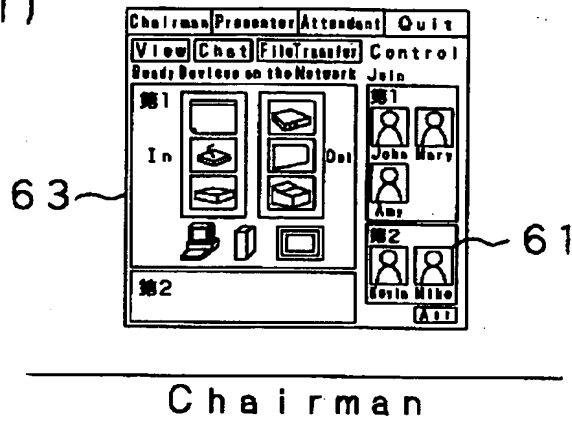
Chairman
Attendant

【図 40】

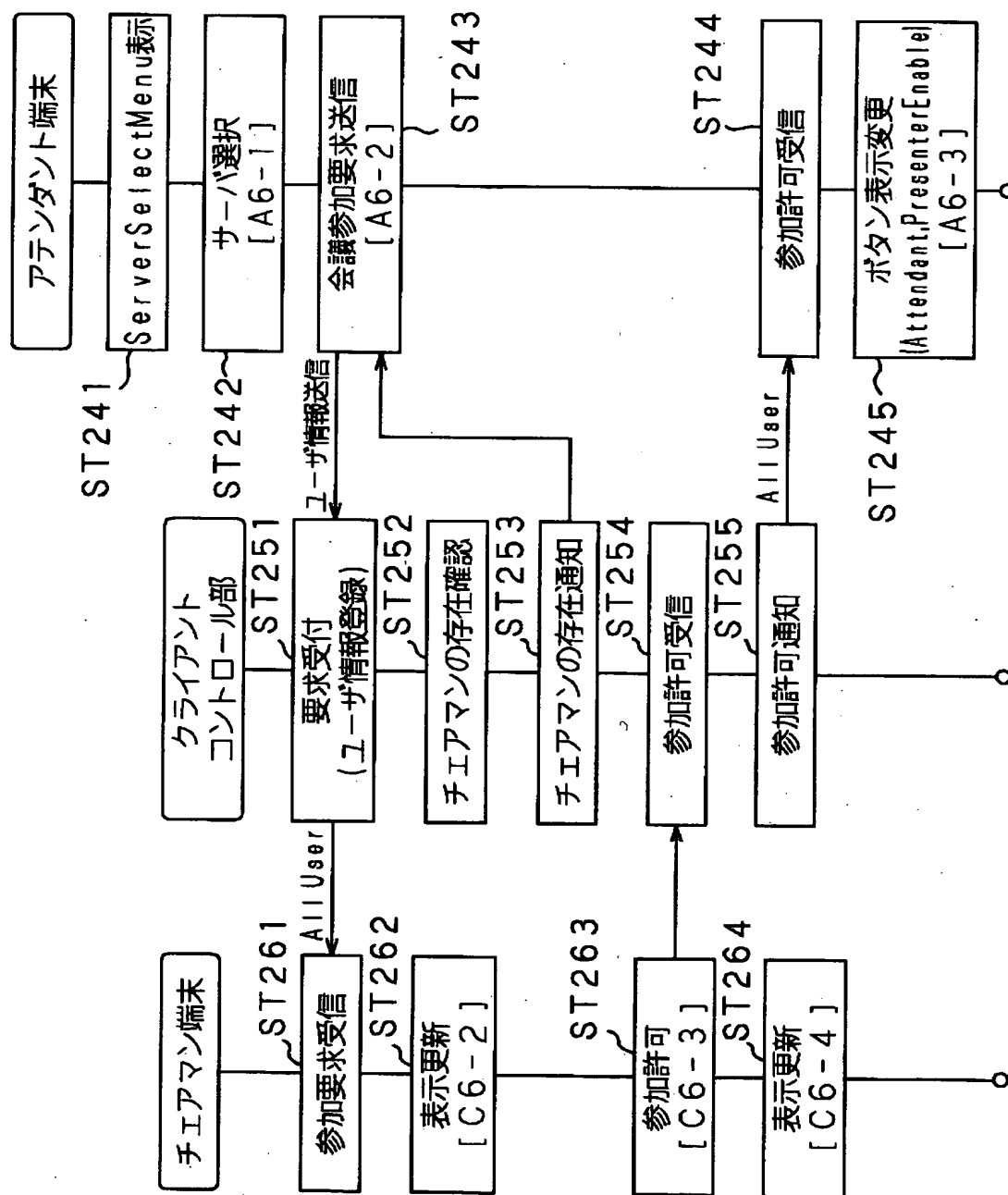


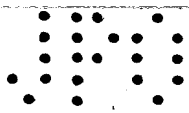
【図 41】

(C6-1)



【図 4 2】





【図 43】

(A6-1)

<input type="radio"/> Local
<input checked="" type="radio"/> Remote
<input checked="" type="radio"/> 第1 <input type="radio"/> 第2

(A6-2)

Chairman Presenter Attendant Quit

Conference

Name:0000
Date:xxxx
Meeting Room:第1

(A6-3)

Chairman Presenter Attendant Quit

View

98 conference 61

第1
John Mary
Amy

第2
Kevin Mike
[All]

Personal menu Store

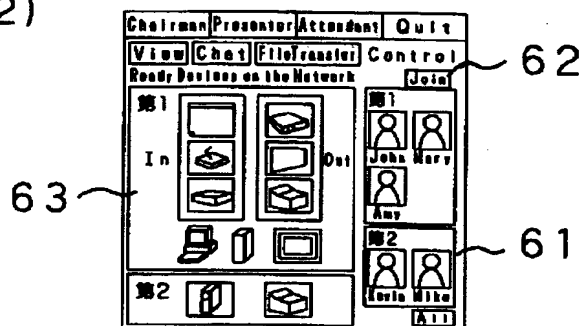
Chat File Transfer

Attendant

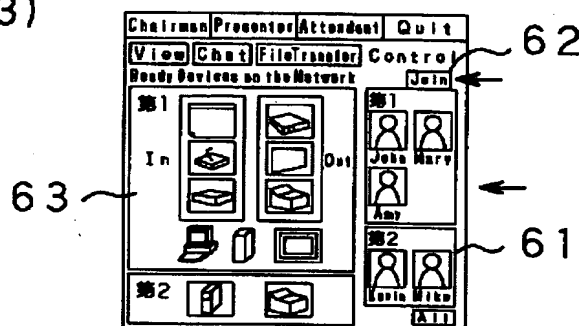


【図 44】

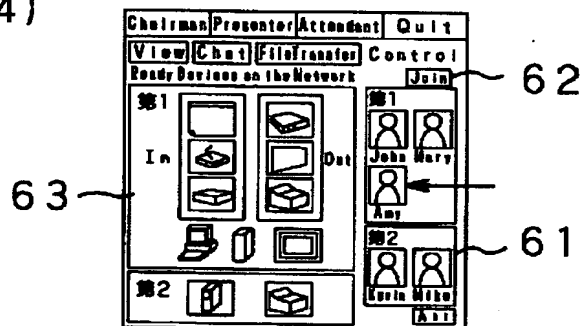
(C6-2)



(C6-3)

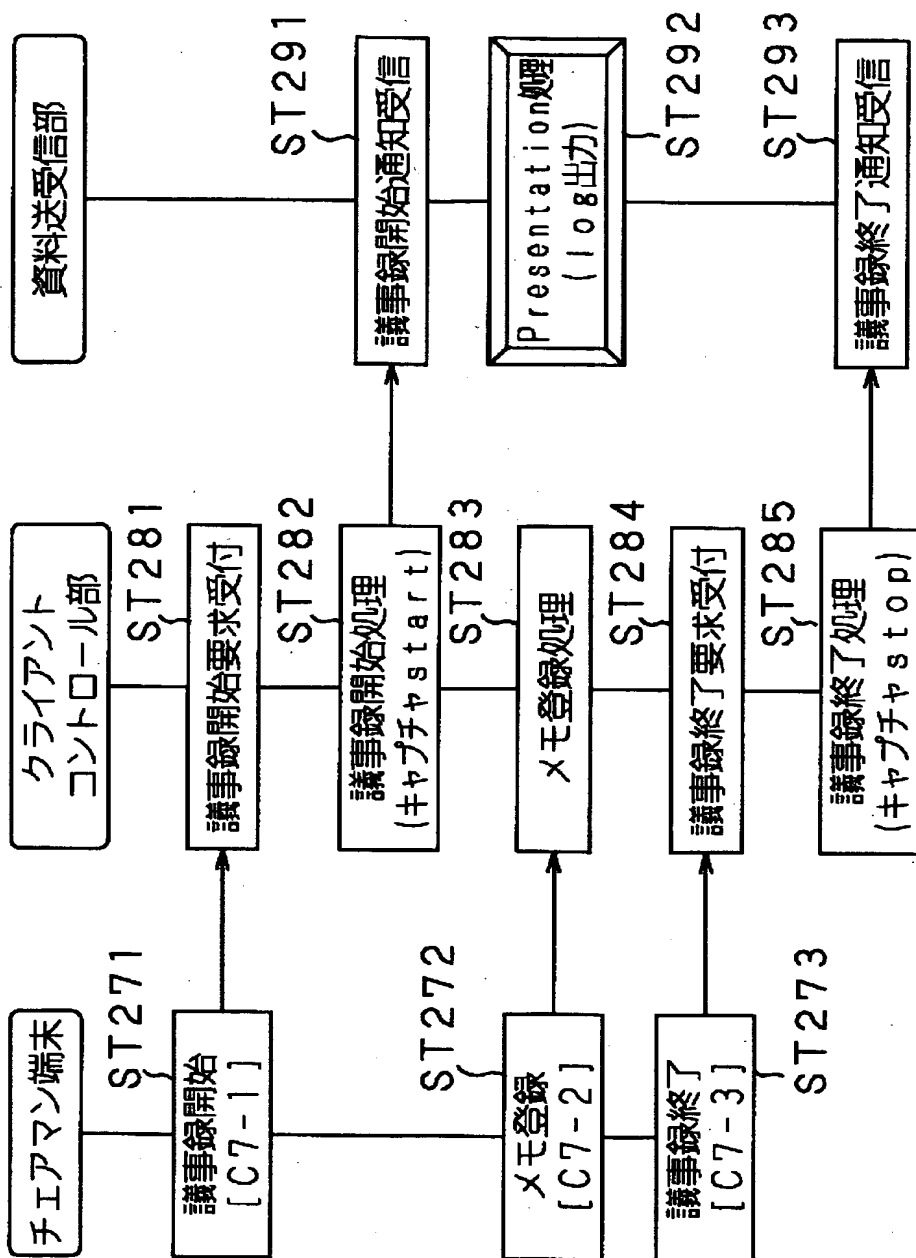


(C6-4)



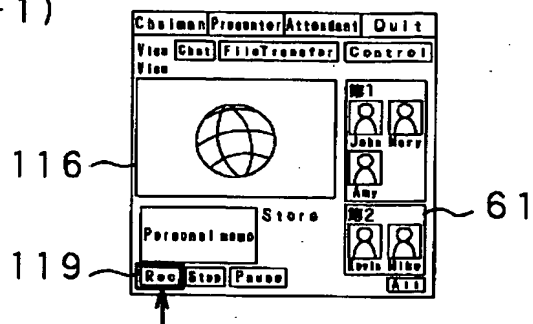
Chairman

【図 45】

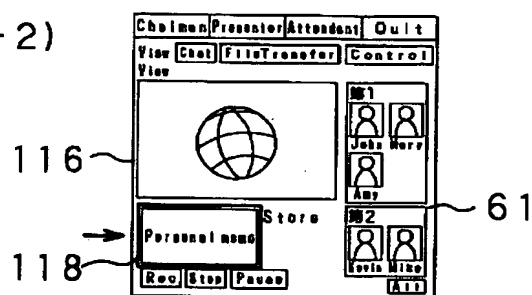


【図 46】

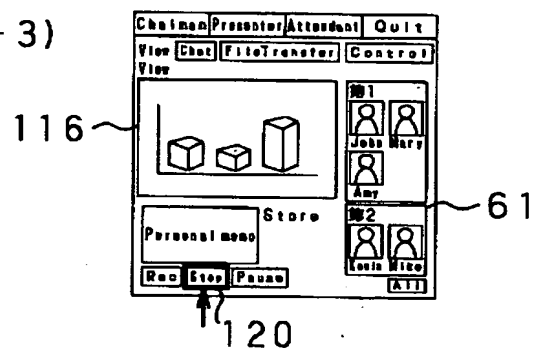
(C7-1)



(C7-2)

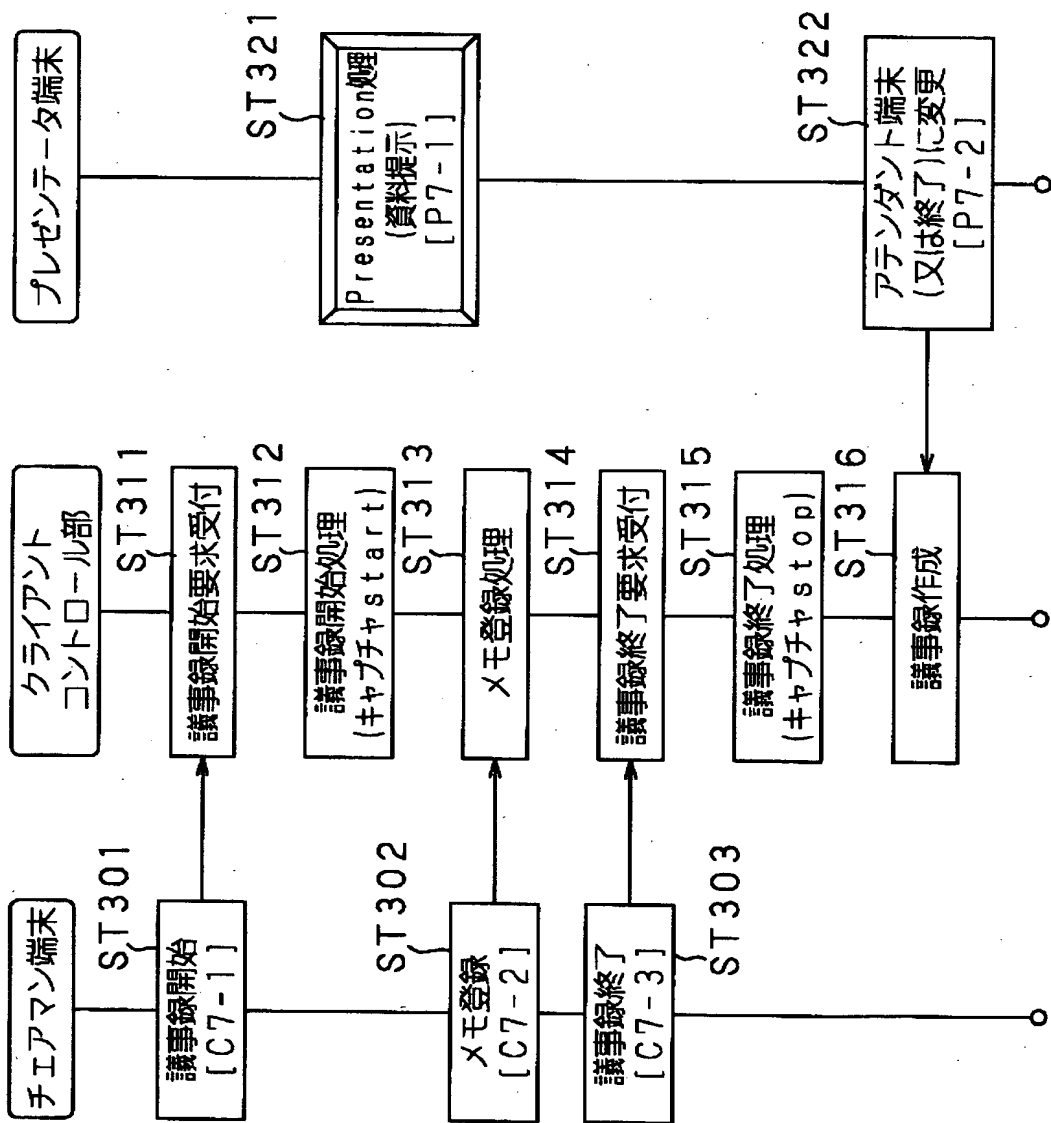


(C7-3)

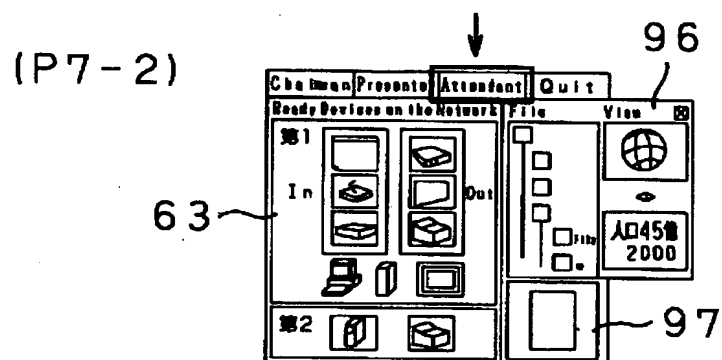
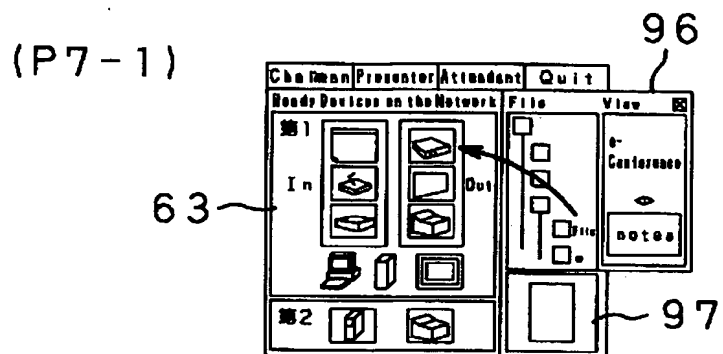


Chairman

【図 47】

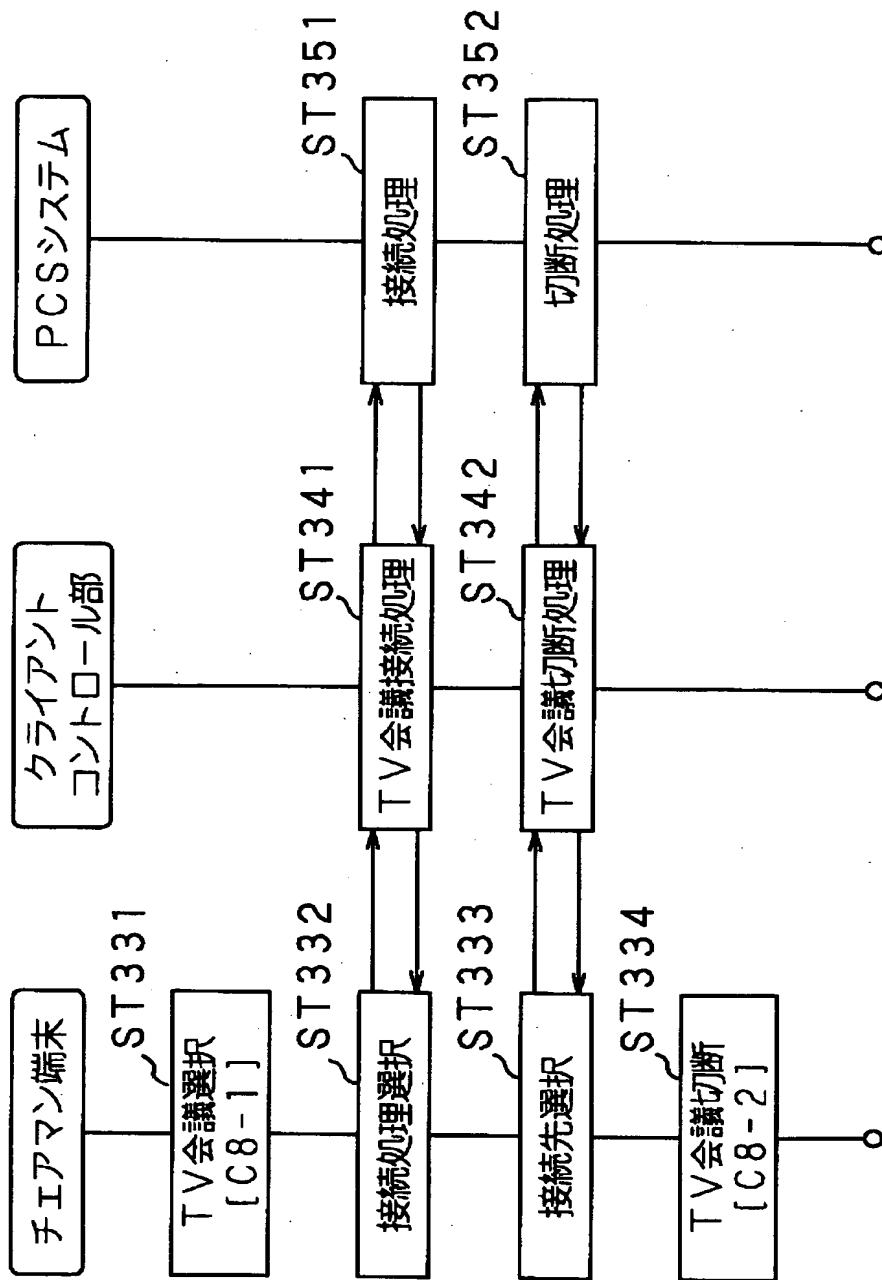


【図 48】

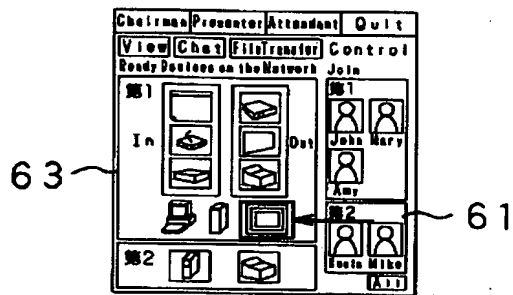


Presenter

【図 49】



【図 50】



Chairman

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 アテンダント端末、プレゼンター端末及びチェアマン端末からなるネットワーク会議システムにおいて、参加認証を行う。

【解決手段】 会議に参加する複数の参加用電子機器のうち、ユーザ認証をする認証機能、機器管理機能、議事録制御機能を有したチェアマン端末となる権限を有したときに、認証機能により、他の参加用電子機器に関する個人情報を含む会議参加要求を会議管理サーバから得て、当該個人情報に基づくユーザの操作に従って、他の参加用電子機器の参加許可情報又は参加不許可情報を作成する。これにより、チェアマン端末は、会議参加要求に応じて参加用級をする参加用電子機器を操作するユーザに関する個人情報をチェアマンに提示して、参加認証をする。

【選択図】 図3